

第五十九回 抵當證券法案特別委員會議事速記録第二號

昭和六年三月十六日(月曜日)午前十時二十分開會

多少條文ニ關係シテ御質問ヲ願ッテモ宜シ
ウゴザイマス

○委員長(子爵伊東祐弘君) ソレデハ是カラ抵當證券法案外九件ノ特別委員會ヲ續ケテ開キマス、今日ハ御質問ヲ願フノデアリマスガ、御異議ガナケレバ先日當局カラ御説明ヲサレマシタ順序デ、先づ抵當證券法案カラ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス

○菅原通敬君 私ニハ質問ハゴザイマセヌ

○委員長(子爵伊東祐弘君) 告サン御質疑ハゴザイマセヌカ

○水上長次郎君 一昨日デシタカ、政府委員カラ御説明ガアリマシタガ、其大體ニ付テハ質問ガアレバ質問ヲシ、ナケレバ外ノ方ノ御説明ヲナサルト云フコトデアリマスカ

○委員長(子爵伊東祐弘君) 大體ノ御質問ガアレバ大體ノ御質疑ヲ願テ、若シナケレバ逐條ニ付テノ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○水上長次郎君 サウスルト、今ハ總體ニ付テ、一般ニ付テ、大體ノ質問ヲ致シマシテモ差支アリマセヌカ

○委員長(子爵伊東祐弘君) 横ヒマセヌ、ウゴザイマス

イマス、年賦デズット拂ッテ居リマス、ソレカラシテソレガ出來ナイモノヲ延滞ト申シテ居リマス、第一ハ延滞、延滞ハ約全體ノ中ノ二分見當デゴザイマス、詰リ百分ノ二シテ、是等ノ銀行ノ貸金ニ對シテ、辨済ガアリマシク時ノ方法ニ付キーツ伺ヒタイノデスガ、多クノ場合デハ辨済ノ方法、期限ガ到來スレバモウ文句ナシニ支拂フ者ガ多イカ、又延期ヲ申込ム者ガ多イカ、又不動産ノ競賣ヲ爲シテ辨済ニ充テル者ガ多イカ、ドチラガ多イカ分リマセヌガ、其多少比較デモ御取リニナックノガアリハシマセヌカト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(大久保慎次君) 只今仰セノ御質問ハ、勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行ノ營業ヲ致シテ居リマス貸金ノ中デ、期限通リニ約束通リニ拂シテ居ルノト、延期ヲ致シマシテ居ルノト、尙ホソレモ更ニ進ンデ擔保物ヲ處分スルト云フヤウナ場合ト、其三ツノ割合ガドウ云フ風ニ大體ナック、一厘見當デゴザイマス、一厘チヨット出テ居リマス、延滞イタシマスノガ百分ノ二位、競賣イタシテ居リマスモノガ一厘チヨット示シヲ願ヒマス

○政府委員(大久保慎次君) 只今ノ御質問ノ第一ハ、借入申込ヲ致シマシテカラ實際ノ貸付ヲ受ケルマデニハドノ位ノ日數ガ掛ルカト云フ仰セデゴザイマスガ、是ハ擔保物ノ種類ニ依テ一概ニ參リマセヌ次第デゴザイマス、ガ併シマア普通段ニ此頃ハ抵當物ノ所在地ヤナンカニ付キマシテ略見當ガ付イテ居リマス、長イ三十年以上ノ経験

ス、一厘チヨット引込ンデ居リマス
スガ、今ノ三銀行ニ付テ貸出ヲスル場合ニ、貸付申込ヲシテカラ愈々貸ス迄銀行ハ色ミ調査シタリ色ミ手數ガ掛リマセウガ、凡ソ申込ヨリ一切ノ貸付ノ状態マデハドレ程掛ルモノデゴザイマスカ、ソレカラモウツ此三銀行ノ貸金ニ對シテ一部支拂ヲ爲シテ、後ハ更ニ其期限ヲ更改シテ延バシテドヲスルコトハ行キマス譯デゴザイマスカ

ラシテ、一回シタカラ、二回シタカラト云フ工合ニ約束通リニ行ケバ直グ出來マス譯デゴザイマスガ、營業上ノ實體ト致シマシテ、中ミサウ云フ競賣ヲ簡單ニ致ス譯ニ参リマセヌノデ、此中カラ又競賣ニナリマスル部分ハ、其競賣ヲ致シマス分量ナンカニナリマスルト更ニ少ウゴザイマシテ、殆ドリマスカ、概略デ宜シウゴザイマスカラ御示シヲ願ヒマス

○政府委員(大久保慎次君) 只今ノ御質問ノ第一ハ、借入申込ヲ致シマシテカラ實際ノ貸付ヲ受ケルマデニハドノ位ノ日數ガ掛ルカト云フ仰セデゴザイマスガ、是ハ擔保物ノ種類ニ依テ一概ニ參リマセヌ次第デゴザイマス、ガ併シマア普通段ニ此頃ハ抵當物ノ所在地ヤナンカニ付キマシテ略見當ガ付イテ居リマス、長イ三十年以上ノ経験

デ大體分ツテ居リマス、擔保物ノ種類等ニ付
キマシテ銀行ノ方ニ鑑定課ト云フモノガゴ
ザイマシテ隨分熟練シテ居リマス、普通ノ
状態デハ約二週間位、貸付ノ所マデ参リマ
ス、併シ尙ホ其他ニ於キマシテ擔保物ノ種
類ニ依リマシテハ一箇月掛ルモノモアリ三
箇月掛ルモノモゴザイマス、之ヲ又物件ノ
種類ニ依ッテ、所在地ノ遠近ニ依ッテ色々ミノ
コトデ一概ニ參リマセヌガ、能ク行キマス
ルト一週間位デ、惡クテモ一箇月三箇月位
デ結果ガ付クト云フ状態デゴザイマス、ソ
レカラ第二ノ質問ハ一旦契約ガ出來マシタ
後ニ債務者等ノ都合ニ依リマシテ、一部ヲ
辨済シテ更改契約ガ出來ルカドウカト云フ
仰セト思ヒマスガ、是ハ勸業銀行法ノ中ニ
其コトモ規定シテゴザイマシテ、一部辨済
ヲ致シマシタル場合ニ契約ノ更改ガ出來ル
コトニナッテ居リマス、其出來マス場合ノ期
間ニ付テモ御尋ガアッタヤウデスガ、更改ノ
セヌ次第デゴザイマスケレドモ、是ハ多ク
ハ債務者ノ都合ニ依リマシテ、期限前ニ償
イマスガ、只今チョット統計ヲ取ッテ居リマ
還全部イタシマス時ニハソレデ済ミマス
ガ、其一部ダケ償還シマシテ、後ハ又ヤリ
直スト云フコトハ、サウ云フ場合ニ擔保物

件ニ付テハ再鑑定ヲスルヤウナ場合ハナカ
ラウト思ヒマスカラ、期間ハ比較的短クテ
濟ムダラウト思ヒマス、唯債權者トノ條件
ノ繩リニ付テドウカト思ヒマスガ、其繩リ
サヘ付キマスレバ鑑定ノ場合ヨリ或ハ早ク
行クベキデアラウト推察イタシマス

○政府委員(大久保慎次君) 是等ノ三銀行
ノ貸出ヲシマス場合ニ、不動産ニ付テ貸出
シマス割合ハドノ位グラウカト云フ仰セガ
定價格ノ三分ノ二以内ト云フコトニナッテ
居リマス、約六割六分、七割足ラズニナッテ
居リマス、是ハ三銀行通ジテ同ジニナッテ
居リマス、農工銀行モ勸業銀行、北海道拓
殖銀行モ此點ニ付テハ同ジデアリマス、ソ
レカラ第二ノ御尋ハ貸付ノ利率ニ付テハ三
銀行トモ變ツテ居ルヤウデアルガ、ソレハ
各、幾ラニナッテ居ルカト云フ仰セノヤウニ
伺ヒマシタガ、仰セノ通り此貸付利率ニ付
テハ三銀行トモ同ジデハアリマセヌ、勸業
銀行ノ方ノ貸付ニ付テノ利率ハ、只今ノ所
實ハ民間ニ對スル貸付ノ利率ハ細カニナッ
テ居リマス、詳細ニ申上ゲマスト、例ヘバ、
公共團體其他ノ組合、例ヘバ産業組合トカ
耕地整理組合トカ云フ組合、或ハ農工漁業
者ノ十人以上ノ連帶ノ場合、田畠、鹽田ト
カ或ハ漁業財團トカ云フ場合、其他宅地、
建物ノ場合、工場財團ノ場合トカ云フ、ソ
レゾレノ場合ヲ分ッテ取扱ツテ居リマス、併

シ引クルメテ大體ヲ申上ゲマスト、勸業銀行ニ於キマシテハ
年七分二厘ト云フ率ニナツテ居リマス、ソレカラ工場團體ノ方ニ付キマシテハ七分八厘トナツテ居リマス、ソレカラ市街地ノ方ノ宅地建物ノ方ハ八分トナツテ居リマス、ソレカラ農工銀行ハ御承知ノ通り數方色ミ澤山アリマスガ、所在地ニ依ツテ多少是ガ違ツテ居リマス、普通ノ一般的ニハ農工銀行ノ方ハ、耕地ノ方ニ付キマシテハ八分四厘トナツテ居リマス、但シ東北ノ方ノ宮城縣、福島縣ニハ農工銀行ガゴザイマスガ、其他ノ縣ノ農工銀行ハ大體ニ於テ青森岩手等ハ合併シテ居リマスカラ、農工銀行ハゴザイマセヌ、北海道拓殖銀行ノ方ハ矢張リ東北ト同ジヤウナ並デ八分六厘トナツテ居リマス、アラマシサウ云フ風ナ標準ニナツテ居リマスガ、尙ホ細カイ調べハ此處ニ出テ居リマスカラ、或ハ表ニシテ差上ゲタ方ガ宜イカモ知レナイト思ツテ居リマス、後程刷リマシテ御手許ニ差上げテモ宜シウゴザイマス、極ク細カイ方ノ表ガ御入用デゴザイマシタラ後程差上ゲマス、モウ一點何カ御質問ガゴザイマシタデセウカ

金ハ固定セシモノデアリマスカラシテ、ドウシテモ高ウモセヌト云フノハ當リ前グラ
ウト思フノデアリマス、若シ本法ガ行ハレ
ル以上ハ貸付ケタ金ガ直グ金ニナルノデス
カラ、ドウシテモ貸シタ方ニ付テハ非常ナ
利益トオラナケレバナラヌ、從テ利率モ是
迄ヨリハ安クスルト云フ御考デアルノデス
カ、ソレカラ貸付ノ期間モ是ハ先程御話ノ
通リ六年……法律デハ決テ居マスガ、其内
規ト云フカ成ルベク長ク貸付ケルト云フ御
方針デアルカ、ソコヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(大久保慎次君) 御答へ申上げ
マス、此利率ノ方ノ點ニ付キマシテハ實ハ
今度ノ抵當證券法ノ關係カラ申シマスト、
成ルベク長期低利ノ資金ヲ一般的ニ普及サ
セタイト云フ趣旨カラ出來テ居リマス、全
國ノ不動産ノ情態ヲ見マスト云フト、只今
仰セノ不動産専門ノ金融機關デアリマスル
日本勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行
ト云フヤウナモノハ額ハ不幸ニシテ割合ニ
居リマセヌ、併シ貸付ノ條件ニ付テハ全體
ノ不動産ニ對スル利率トシテハ頗ル安ク、
條件等モ良ク出來テ居リマス、参考ノ爲ニ
他ノ方ヲチョット申上ダマスト、普通ノ銀行
ノ不動産ニ對スル貸付利率ハ大體平均イタ

シマシテ九分六厘トナッテ居リマス、今ノ特
殊銀行ニ比ベマスト餘程高イノデアリマ
ス、尙ホ更ニ大部分ノ貸出ニナッテ居リマ
ス個人資金ノ貸出利率ヲ統計ヲ取テ見マ
スト、一割一分三厘五毛ト云フヤウナ高イ
率ニナッテ居リマス、斯ウ云フ風ナ個人トカ
或ハ普通銀行トカ云フ風ナ方面ノ高イ率
ガ、漸次不動産抵當證券其他特殊銀行ノ機
能發揮ノ爲ニ、サウ云フ風ナ方面ニ參リマ
スト云フト、或ハ漸次ニ特殊銀行ノ利率ノ
方ニ近寄ル傾向ニナルノデアラウ、デ特殊
銀行自身ト致シマシテハ今後抵當證券ガ出
タカラシテ直ニ此利息ヲ下ゲル意思ガアル
ノ所確實ニ抵當證券ガ出タカラ直ニ勸業銀
行等ノ利息ヲ安クシナケレバナラヌト云フ
所迄ハ考ヘテ居リマセヌ、是等ハ皆個人ト
カ普通銀行トカ云フモノガ大部分ノ貸出ヲ
バ二十何億デアリマシタカ、百分ノ五十幾
ツト云フモノハ生キルコトニナッテ居リマ
ス、ソレカラ抵當證券ヲ發行スルコトニナ
リマシテモ、私ノ想像デハ現在抵當債權ノ
アルモノハ證券發行ニ付テノ許諾ハ恐ラク
云フト折角此法律ヲ施行シヤウト云フ土地
ノ區域内ノ貸付金ニ對シテハ證券ガ出ナイ
ト云フコトニナルト云フト、大藏省ニ於テ
希望セラレル所ノ固定資本ヲ資本化、證券

化スルト云フ望ミハ俄カニ達スルコトハ出
ルノデスネ

○水上長次郎君 勸業銀行、農工銀行、北
海道拓殖銀行、此三銀行ノ條例ハ改正ニナ
ニ對スル貸付利率ハ大體平均イタ

○政府委員(大久保慎次君) ハイ

○水上長次郎君 即チ抵當證券ノ賣買、抵
當債權ノ質取り、抵當證券ガ發行セラレル
コトニナリマスト、一昨日モ説明ヲ承リマ
シタ通リ僅ニ都市ダケシカ本法ヲ施行シナ
イト云フコトデアリマスカラ、貸付金即チ
二十六億万圓現在貸付ケテ居ル、其百分ノ
五十以上ハ本法ヲ施行スルコトガ出來ナイ
コトニナル、所ガ抵當債權ヲ質入レシマス
ルト云フコトニナルト、是ハ都鄙ノ別ハナ
イノデスカラ、是デ餘程固定資本ノ資本化
ト申シマセウカ、或ハ證券化ト申シマセウ
カ、兎ニ角固定資本ガ非常ニ生キルコトニ
ナル、其生キル歩合ハ凡ソドレ程迄、例ヘ
バ二十何億デアリマシタカ、百分ノ五十幾
ツト云フモノハ生キルコトニナッテ居リマ
ス、ソレカラ抵當證券ヲ發行スルコトニナ
リマシテモ、私ノ想像デハ現在抵當債權ノ
アルモノハ證券發行ニ付テノ許諾ハ恐ラク
云フト折角此法律ヲ施行シヤウト云フ土地
ノ關係カラシテ、第一サウ致シタイ、登記
所トノ關係トカ登記官吏ノ方ノ關係トカ云
フ風ナコトカラ出テ居リマスノデ、大體ニ
於テノ希望ト致シマシテハ都鄙ノ區別ナク
成ベク早ク實施シタイト云フヤウナ趣旨ニ
ナッテ居リマスガ、如何ニシテモ斯ウ云フ風
ナ相當面倒ナ手續ノ法律デ、ザイマスカラ、
全國一律ニ直ニ行フト云フコトハ如何デア

ラウカト云フ趣旨デ出來テ居リマシテ、漸次ニハ全國成ベク早イ時期ニ於テ實施シタイト云フ積リデ居リマス、丁度今仰セノ通ヲ勸業銀行以下ノ不動産金融機關ガ同時ニ認メマス結果、サウ云フ風ナ効キガ都鄙ノ區別ナク行ハレル譯デゴザイマス、此點ハ斯ウ云フ風ナ不動産金融機關ガ比較的多ク田舎ノ方ニ貸付テ居リマスカラシテ、此抵當權ヲ主トスル債權ノ……更ニ勸業銀行等ノ不動産金融機關ニ於キマス分量ハ田舎ノ方ガ割ニ多カラウト思ヒマス、從シテ抵當證券法ハ直ニ實施サレマセヌデモ、其方ノ不動産ヲ主トスル債權……不動産ヲ擔保トシテ居リマス所ノ債權ヲ主トスル所ノ貸付ノ方ガ直ニ行ハレマス結果、一般的ニ見マスト云フト其方ノ効キノ方ガ田舎ニ於テハドウシテモ是ヨリ外ニナイト云フ譯デゴザイマスカラ、行ハレル結果ニナルグラウト思ヒマス、只今ノ所デハ丁度兩方行ハレル方面ノ側デ、抵當證券ノ方ト或ハ不動産ヲ抵當トシテ居リマス債權ヲ主トスル貸付ト、ドッヂスカラ、確實ニコッチノ方ガ多カラウト

云フコトハ、チヨット豫メ確定的ニハ申上ゲ
兼ネルコト思ヒマスルケレドモ、併シ抵
當證券法ノ實蹟ニ付キマシテ、凡ソノ目標
司法當局及大藏省ノ方面カラモ申上ゲマシ
タ通り、全體是ハ差當リノ問題ト云フヨリ
モ不動産金融ノ大局ニ著眼イタシマシテ、
將來此不動產ノ方針ニ付キマシテ出來ルダ
ケ轉々流通シテ行クト云フ風ナ制度ヲ創設
スルト云フ趣旨カラ出來テ居ル次第デアリ
マス、其行ハレル結果ト致シマシテ漸次ニ
條件モ好クナリマス、利息モ好クナリマス
ト云フ風ナコトニ世間ノ認識ヲ得ルト云フ
コトガ確實デアラウト思フノデゴザイマ
ス、制度ソレ自身ガ創設サレマシテ民間ニ
相當習熟……此制度ニ付テノ理解ガ出來テ
ナッテ來ルト云フコトト相伴ヒマシテ、直ニ
ハドウカ知レマセヌケレドモ、漸次此制度
ガ好クナツテ來ルト云フ風ナ工合ニ我ミト
シテハ見テ居リマス、又之ヲ實行シテ居リ
マス外國ノ例ナドカラ見マシテモ此不動產
ニ對スル金融機關ト致シマシテハ、餘程此
方ハ轉々流通サレテ應用サレテ居ルヤウデ
打ガアルモノデアラウト云フ風ニ期待ヲ

持シテ居リマス次第デアリマス、只今ノ所ド
ノ位ノ割合デアラウカト云フコトハ全ク事
將來ニ屬スル爲ニ、我ミノ方デハ確實ニ由
上ゲ兼ネル次第デアリマスケレドモ、前途
ノ希望ハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、尤
モ今仰セノ通り直接ノ問題ト致シマシテ居
ハ、殊ニ田舎ノ方ニ於テハ抵當證券ガ行ハ
レマセヌ關係上、不動産ヲ抵當トシテ居リ
マス債權ヲ主トスル貸付ト云フ方ハ直グニ
利用セラレマス關係上、此方ハ勸業銀行等
ニ相當ノ申入レ希望ガ出テ來ルノデアラウ
ト云フコトヲ信ジテ居リマス次第デアリマ
ス

ノ質入ノ方ヲ御希望ニナルヤウニ考ヘルガ
ドウデセウ、若シ區域擴張ト云フコトガ争
ニ出來ナカッタナラバ……

○政府委員(大久保慎次君) 此抵當證券津
ノ區域ニ付キマシテハ、此法案ノ附錄ノ所
ニゴザイマス通リ本法施行ノ區域ハ勅令ヲ
以テ之ヲ定メルト云フコトニナッテ居リマ
ス、只今申上ゲマシタ豫定シテ居リマス尙
制施行地、借地借家法ノ施行地及浦和縣鹽
所在地ト云フガ如キハ此勅令ノ方ノ第一ノ
豫定ノ所デゴザイマス、併シ御承知ノ通り勅
令ヲ以テ之ヲ定メル趣旨ハ、漸次ニ此指定
ヲスルト云フコトハ勅令デ出來マスコトニ
ナリマスカラ、政府トシテハ斯ウ云フ風ナ
制度ハ實行ヲ成ルベク早ク全國ニ及ボシタ
イ、事務上ノ都合ガ段々整フテ參リマスレ
バ、一刻モ早ク全國ニ施行シタイト云フ風
ナ越旨デ此法案ハ出來テ居リマス次第デアリマ
スカラ、當分ノ間已ムヲ得ズ差當リハ
今申上ゲマシタヤウナ地域デゴザイマスノ
デ、此法律施行ノ目標ト云フモノハ成ルベ
ク早ク全國ニ施行シタイ、斯ウ云フ風ナ趣
旨デ出來テ居リマス次第デアリマス、從シテ
今仰セノ抵當證券法ノ關係ニ付キマシテハ

タシタイト云フ前途ノ希望カラ出テ來テ居リマス次第デアリマスカラ、是非此法ハ日本ノ現状カラ見テモ速ニサウ云フ風ナ機會ガ來ルヤウニト云フ希望デ居リマス次第デアリマス、ソレデ不動產ヲ抵當トシテ居リマス債權ノ質トシテ之ヲ是等ノ特殊銀行ニ認メマスト云フ事柄ハ、是ニ抵當證券ヲ實行イタシマスト、大體ニ制度ニ於テ此抵當證券自身モ矢張リ不動產ヲ抵當トシテ居リマス債權ヲ證券化シタニ過ギマセヌコトデアリマスカラ、彼此レ實際ノ關係上別段ニツニスル必要ハナイ、或ルモノハ證券ノ方デ行ツタラ宜カラウ、或ルモノハ債權自身ノ方デ行ツタラ宜カラウ、但シ法律ノ目標ハ矢張リ流通化、證券化ト云フ風ナ前途ノ希望カラ申シマスト、矢張リ此抵當證券法ミタ様ナモノガ不動產ノ金融ト云フ方面カラ云フト理想ニ適ツタモノデアラウト考ヘテ居リマス、手ッ取早イ所デサウ云フコトガ實行出來マセヌ場合、及ビ今日勸業法等ニハ斯ウ云フ風ナ制度ガ極ク制限的ニ出來テ居リマスガ、此方ニ付テ此際不便ヲ除去シヤウト云フヤウナ趣旨デゴザイマス、是アルガ爲ニ抵當證券法ノ方ヲ廢メテシマハウト云フヤウナ意味デハナイ、寧ロ抵當證券法ノ

○水上長次郎君

ノ部分ヲ占メルヤウニナルデアラウ、又其方ガ實際ニ貸付證券其他ノ方ニ於テモ一般的ニハ宜クナル筈ノモノデアラウ、斯ウ云

ベ、本法通りデアタナラバ、證券所有人ト
云フモノハ支拂期日ガ到著シテ支拂ヲ受ケ

ガラ是ハ將來ニ於テハソレハ貸ス方ノ人ハ
ドウシテモソレハ權利……權利ト云ウテハ

ナンダ時ニハ不動産ヲ競賣ヲスル、其競賣

譯デアリマス、丁度マア能ク御話ニナリマ

知モ何モシナイ、所有者ニ對シテハ財產取

得ノ通知ヲシナイデ勝手ニ競賣スルコトガ
出來ル、サウスルト材產取得者ト云フモノ

ハ殆ド土地ニ付テハモウ權利モ何モナイト

云フコトニナ、テシマフ、サウ云フコトデア

レバ財産取得者ハ相當ノ金ヲ出シテ何モ無理

筈デアル、第一、第三ノ抵當權者ニシテモ

サウデアル、所有者ガ同ジコトデ手形ノ所

有人ノ申立モ、何等ノ通知ヲ受ケズ勝手次
第ニサレルノデアリマス、若シ通知ヲ受ケ

レバ自分で買入レルトカ、或ハ相當ノ買出

人ヲ見ツケテ成ベク不動産ヲ全部高ク賣

テ、サウシテ債務ヲ辨済シテ餘剩ヲ残スト
云フノハ是ハ十分努メルコトデアラウ、ケ

レドモ知ラヌ内ニ賣却サレタナラバ其コト

ハ出來ナイ、其不動産ニ對シテハ……第三ノ底富者ト云フモノハナクナレ苦デア

第三ノ推當者曰云ノキハ六ノ六ノ管テノル、サウ云フ不利益ヲ所有權者ハ負ハサレ

ルコトニナルノデアリマスカラ、ドウモ既

二 抵當登記ヲシタ債權ニ對シテハ恐テクハ
證券發行ノ權利ヲ與ヘナイト思ヒマス、併ナ

シテ世間ノ需要ヲ豊ニスルト云フコトハ殆ド達スルコトハ出來ナイグラウト思ヒマス、當分ノ間ハソレヨリハ寧ロサウ云フ面倒ナ債券發行ノ方法ヲ實行スルヨリハ、大藏省ハ最モ希望セラレテ居ル所ノ固定資本ノ資本化ト云フコトヲ一時モ早ク多ク、本ノ資本化ト云フコトヲ一時モ早ク多ク、一般ノモノニ對スル方ガ御希望ヲ充タスニ十分デアラウカト思フノデアリマス、ソレデ實ハ其御尋ヲシタ譯デアリマス、先ヅ以テ本法ガ施行セラレタ上ノ認定ノ抵當債券ニ對シテ債券發行ガ出來ルカ出來ナイカト云フコトノ御見込ヲツ御尋ネ致シマス。

○政府委員(大久保債次君) 既ニ出來テ居リマス抵當權者ガ債務者ニ對シテ直ニ其承諾ヲ得マシテ、特約ヲ得マシテ、抵當證券ニナルグラウカドウグラウカト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、仰セノ通リ新シク出來ル場合ヨリモ債務者ハナカヽ容易ニ承諾イタシマセヌカモ知レマセヌ、併ナガラ此時期方自カラ債權ノ期限ト云フモノガアリマス問題デアリマスカラ、其債權ノ期限ガ到來イタシマスレバ、今度ハ其條件ヲ變テハドウグラウカト云フヤウナ點デ、相談ガ又出來ルノヂヤナイカト思ヒマスノデゴザイマス、ソレハ見込ニ屬シマスコトデア

リマスカラシテ、必ズソレガ多クナルカドウカト云フコトヲ豫斷シニクウゴザイマスガ、新シク出來マス場合ヨリモ御想像ノ通り既設ノ抵當權者ニ對シテ、抵當權者ガ不動產所有者ニ對シテ承諾ヲ得ル機會ハ新シ是ガ行ハレル場合ヨリ困難デアラウト云

フコトハ同ジヤウニ考ヘテ居リマス、併シ期限ガソレゞ參リマス當事者トノ話合ヒニ依リマシテ、是等ニ付キマシテモ漸次ニ當證券ガ有利デアル、此方ガ不動產ノ資金化、證券化ト云フ上カラ見テ漸次ニ金融上ニ作用ヲ爲スノダト云フ認識ヲ得マスレバ、ソレゞ期限ガ到來シ、條件等ガ又相談サレル場合ニハ、抵當證券ガ行ハレルト云フ傾向ニナルデアラウト思フノデアリマス、此間カラ抵當證券ニ付テノ長所ヲ申上ス、此間カラ抵當證券ニ付テノ長所ヲ申上ス、此間カラ抵當證券ニ付テノ長所ヲ申上

ト云フヤウナモノガ一般的ニ利用セラル、筈ニナルモノデアラウ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持テ居リマス次第アリマス

○水上長次郎君 尚ホツツ伺ヒマスガ、抵當權者ヲ質入ニ取ラレタ場合ニはドウ

シテ、三銀行ガ質ニ取ルコトガ出來ルヤウニナリマシタ以上ハ、是ハ貸付ト云フコトニナリマスノカ、或ハ手形デモ割引ト云フシテ割引デモシテ質フト云フコトニナリマスカラ、其先キハ、或ハ向フガ買入レテ貸云フ手續ニナルノデスカ、或ハ手形デモ出シテ割引デモシテ質フト云フコトニナリマスカラ、ドウ云フ工合ニナルノデアリマスノハ貸付ノ形デズット行クグラウト思ヒマス、ソレデ其取テ居リマスモノハ例ヘバ一万圓ノ不動產抵當附債權ガゴザイマス、ソレニ對シマシテ一万圓貨スト云フ風ニハ

トニ付テハ相當ノ期待ヲ持チ得ルナイカト云フヤウニ考ヘマス次第アリマス、後ノ方ニ仰セニナリマシタ債權質ノ方デゴザイマスナ、此方モ無論現在トシテハ相當ニ行ハレダラウト思ヒマスガ、如何ニモ不動產

ノ資金化、證券化ト云フ要求ニ對シマシテハ矢張リ完全ナ制度デナイグラウト思フノデアリマス、主トスル貸付ハ矢張リ轉々流通スル證券ノヤウナ工合ニ參リマセヌカラ、一般的ニ不動產ヲ利用シ、活用スル場合カラ見ルト十分デナイ、差當リ其法モ行ハレルト云フコトハ認メラレマスケレドモ、將來ノ施設ト致シマシテハ矢張リ不動產證券ト云フヤウナモノガ一般的ニ利用セラル、筈ニナルモノデアラウ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持テ居リマス次第アリマス

○政府委員(大久保債次君) ソレハ今度法律ヲ持ヘマシテヤリマス譯デゴザイマスガ此、不動產ヲ抵當トシテノ債權ノ質ノ關係ハ普通銀行等ニ於テモ行ハレテ居ルノデゴザイマシテ、附記登記ノ方法ニ依リマシテ多クハ行ハレテ居ル次第ゴザイマス、

○水上長次郎君 尚ホツツ伺ヒマスノデゴザイマス

○政府委員(大久保債次君) 此質トシマスノハ貸付ノ形デズット行クグラウト思ヒマス、ソレデ其取テ居リマスモノハ例ヘバ一万圓ノ不動產抵當附債權ガゴザイマス、ソレニ對シマシテ一万圓貨スト云フ風ニハ

行カヌカモ知レマセヌ、何故カト云フト今
マデ貸シテ居リマスモノニ付テ其不動産ノ
値打ガ勸業銀行等ニ於テモソレダケ認メマ
セヌカモ知レマセヌカラ、其點ニ付テハ多
少值引ヲスルト云フコトガアリマシテ、一
万圓ニ付テ八千圓シカ貸サヌト云フコトニ
ナルカモ知レマセヌガ、併シ其ヤリ方ハ質
ト致シマス貸付ニナツテ行キマス

○水上長次郎君 莘ダ失禮デスガモウ一ツ
御尋不致シマス、一向銀行金融方面ニ付テ
ハ不案内デゴザイマスカラ、或ハ詰ラヌコ
トヲ御尋ネスルカモ知レマセヌカラ、其御
債權證券ト云フモノガ發行セラレルコトニ
ナリマスト云ワト、其轉々流通スルノ狀況、
ソレカラ取引ノ關係ト云フモノガドウ云フ
工合ニナルモノデアリマセウカ、ドナタカ
ノ御説明デアリマシタガ、手形債權……、
抵當債權證券ト云フモノガ發行セラレル以
上ハ、丁度抵當物ヲ背負ッタ手形ト同ジヤウナ
モノデアルト云フコトヲ言ハレタヤウデア
リマスガ、サウスレバ又普通ノ證券ト變ル
コトガナイノデアリマス、サウスレバ其證
券ノ轉々流通スル狀況ト云フモノガ普通ノ
手形ト同様デアルカ、ソレヲ詳シク申シマ
スレバ、銀行業者……、サウ云フ手形ハ銀

行業者間ニ於テノ取引ニ止マルモノデアッ
テ、普通手形ノ如クニ商賣人ト商賣人トノ
間ニヤルトカ、或ハ殆ド現金同様ノ有様ヲ
以テ轉々流通セラレルモノデアルデアラウ
カ、其處ヲ私ハ伺ヒタイ、其處ハドウ云フ
モノデスカ

○政府委員(大久保健次君) 御答ヲ申上げ
マス、抵當證券ガ出マシタ後ノ社會ニ於ケ
ル此流通ノ狀況ニ付テ御尋デゴザイマス
ガ、發行サレタ上ニ於テハ、勿論法律ノ上
デ敢テ之ヲ銀行ニ限シテ居リマセヌ次第デ
アリマスカラ、個人ノ……例ヘバ金融ヲシ
テ居リマス人ノ間ニ於テモ是ガ行ハレルデ
アラウト思ヒマスノデゴザイマスケレド
モ、併シ自然斯ウ云フ風ナモノハ裏書其他
ノ關係カラ見マシテ専門家ノ方ニ行キマセ
ヌト云ワト、又自然マア専門家ノ方ニ行ク
ト云フ傾向ニナルダラウト思ヒマスガ、實
ハ不動産ノ所有者若クハ債務者側ニ多少ノ
不便ト不利益ヲ與ヘルカラ、其代リニ貸ス
方ニ於テハ十分奮發ヲシテ債務者ニ利益ヲ
與ヘルト云フ方針デアルナラバ、ソレハ又
私ノ考モ違ヒマスガ、サウスルト今マデノ
利息ヨリモ餘程御下ゲニナル考デアリマス
カ

○政府委員(大久保健次君) 御答ヘ申上げ
マス、利子ノ點ニ付テハ私ガ申上ゲマシタ
コトガ少シ言ヒ方ガ惡カツタ關係カト思ヒ
マスガ、モウ一遍申上ゲテ見タイト思フノ

行業者間ニ於テノ取引ニ止マルモノデアッ
テ、普通手形ノ如クニ商賣人ト商賣人トノ
間ニヤルトカ、或ハ殆ド現金同様ノ有様ヲ
以テ轉々流通セラレルモノデアルデアラウ
カ、其處ヲ私ハ伺ヒタイ、其處ハドウ云フ
モノデスカ

○政府委員(大久保健次君) 御答ヲ申上げ
マス、抵當證券ガ出マシタ後ノ社會ニ於ケ
ル此流通ノ狀況ニ付テ御尋デゴザイマス
ガ、發行スルコトガ稀デアラウ、斯ウ御尋ヲ
致シマシタノニ對シテ御答ニハ、ソレハ期
限モ其中ニ到來スルデアラウカラ、サウシテ
利息モ安クナルカラシテ自然ソレヲ借入レ
ルコトニナルト言ハレマシタガ、先程御尋
テ居リマス人ノ間ニ於テモ是ガ行ハレルデ
アラウト思ヒマスノデゴザイマスケレド
モ、別段利子ニ付テ安クスルト云フコトハ
ネシタ際ニハ抵當債權證券ガ發行ニナツテ
モ、併シ自然斯ウ云フ風ナモノハ裏書其他
ノ關係カラ見マシテ専門家ノ方ニ行キマセ
ヌト云ワト、又自然マア専門家ノ方ニ行ク
ト云フ傾向ニナルダラウト思ヒマスガ、實
ハ不動産ノ所有者若クハ債務者側ニ多少ノ
不便ト不利益ヲ與ヘルカラ、其代リニ貸ス
方ニ於テハ十分奮發ヲシテ債務者ニ利益ヲ
與ヘルト云フ方針デアルナラバ、ソレハ又
私ノ考モ違ヒマスガ、サウスルト今マデノ
利息ヨリモ餘程御下ゲニナル考デアリマス
カ

○政府委員(大久保健次君) 御答ヘ申上げ
マス、利子ノ點ニ付テハ私ガ申上ゲマシタ
コトガ少シ言ヒ方ガ惡カツタ關係カト思ヒ
マスガ、モウ一遍申上ゲテ見タイト思フノ

人ナリ銀行ナリノ利率ハ結局此歩合ハ將來安イ所ニ行クト云フ見當ガ付キマス譯デア

リマスカラ、利子ト云フモノハ漸次ニ安クナル傾向ニナルデアラウト思フノデアリマス、今マデハ借りタラ借り切りデ動カナイ

ノデアリマスカラ、金ノ出所ガアリマセヌガ、今後ハ貸シタ者ハ更ニ他ノ金融機關ニ

轉々移フテ行ク見込ガ出來テ參リマス、不動産ノ中央金融機關デアル勸業銀行アタリガ

働イテ來マスト漸次サウ云フ風ニ低利ノ金ヲ目標ニスルト云フコトノ可能性ガ殖エテ

參リマス譯デアリマスカラ、サウ云フ風ニ一般的ノ金利ガ漸次ニ下シテ來ルデアラウ、左様御了承ヲ願ヒマス

○水上長次郎君 分リマシタ、私ハ先づ是デ大藏省ノ方面ノ質問ハ打切りマス、尙ホ一般ノコトニ付イテ少々御尋不致シタイコトガアリマスカラ、……

○委員長(子爵伊東祐弘君) 局長ハ丁度豫算ノ方ニ御出ニナリマスノデ若シ宜シケレバ……

○水上長次郎君 大藏省ノ方ニドナタカ御尋ガアッテ、ソレニ付テ又疑フ質スコトガアルカモ知レマセヌ……

○子爵前田利定君 私ハ後レテ參リマシタ

カラ、私ノ參リマス前ニ同ジ御質問ガゴザ

イマシタコトガアリマスレバ、是ハ速記録ニ付テ拜見シテ差支ヘナイモノデゴザイマスガ、今度ノ此法案ヲ見マスト云フト、登記ト云フモノヲ必要トシナイト云フコトニナッテ、大變轉々シテ參リマスニ、大變ニ便利ノ……融通カラ申シマスト大變便利ノヤウニ考ヘマスガ、債務者方ノ側カラ見マスト

云フト、或時期ニ辨済ノ期限ヲ延バシテ貰フトカ、或ハ一部金ヲ入レテ期限ヲ延長シテ貴フトカ、或ハ他人カラ肩代リシテ融通ヲ計ルトカ云フ場合ニハ、登記ト云フモノガ其都度ニ伴テ居リマセヌカラシテ、所持人ガ誰デアルカト云フコトガ不明瞭ニナリハシナイカト思フノデスガ、其點ハドンナモノデゴザイマセウカネ

○子爵前田利定君 此略、見當ガ付クト云フノハ、ドウ云フコトニ依テ其略、見當ガ付クトノデアリマセウカ、無論手形ノヤウニハ敏速ニハ轉々シマスマイケレドモ、其見當ヲ付ケル、其筋道ハドウ云フ所ニ依テ付ケラレマセウカ

○政府委員(森田豊次郎君) 此見當ヲ付ケマスニ付テハ、結局ハ裏書人ヲ述シテ行クヨリ途ハナイノデアリマスガ、此證券ニ付キマシテハ、手形ノヤウナ白地裏書、被裏書人ノ誰デアルカ分ラナイ、此手形裏書ノ規定ハ準用イタサナイコトニ致シマシテ、必ズ裏書ノ場合ハ被裏書人ガ、分シテ居ルカ

ト云フヤウナ状態ハナカラウト思ヒマス、ソレカラ又大體利息ヲマア普通拂スガトニナリマスカラ、其際ニハ證券ノ所持人ガ證券ヲ持テ債務者ノ所ヘ參リマシテ請求スルコトニナリマスカラ、債務者ノ方ハ、表向ハ分シテ居ラナイカモ知レマセヌガ、實際ハ債權者ガ誰デアルカ、誰ノ手ニ

テ請求スルコトニナリマスカラ、債務者ノ方ハ、表向ハ分シテ居ラナイカモ知レマセヌガ、實際ハ債權者ガ誰デアルカ、誰ノ手ニ

テ請求スルコトニナリマスカラ、債務者ノ方ハ、表向ハ分シテ居ラナイカモ知レマセヌガ、實際ハ債權者ガ誰デアルカ、誰ノ手ニ

テ請求スルコトニナリマスカラ、債務者ノ方ハ、表向ハ分シテ居ラナイカモ知レマセヌガ、實際ハ債權者ガ誰デアルカ、誰ノ手ニ

テ請求スルコトニナリマスカラ、債務者ノ方ハ、表向ハ分シテ居ラナイカモ知レマセヌガ、實際ハ債權者ガ誰デアルカ、誰ノ手ニ

テ請求スルコトニナリマスカラ、債務者ノ方ハ、表向ハ分シテ居ラナイカモ知レマセヌガ、實際ハ債權者ガ誰デアルカ、誰ノ手ニ

テ請求スルコトニナリマスカラ、債務者ノ方ハ、表向ハ分シテ居ラナイカモ知レマセヌガ、實際ハ債權者ガ誰デアルカ、誰ノ手ニ

テ請求スルコトニナリマスカラ、債務者ノ方ハ、表向ハ分シテ居ラナイカモ知レマセヌガ、實際ハ債權者ガ誰デアルカ、誰ノ手ニ

テ請求スルコトニナリマスカラ、債務者ノ方ハ、表向ハ分シテ居ラナイカモ知レマセヌガ、實際ハ債權者ガ誰デアルカ、誰ノ手ニ

テ請求スルコトニナリマスカラ、債務者ノ方ハ、表向ハ分シテ居ラナイカモ知レマセヌガ、實際ハ債權者ガ誰デアルカ、誰ノ手ニ

テ、サウ御尋ノヤウナ懸念ハナカラウト思ヒマス、ソレカラ又大體利息ヲマア普通拂

スガトニナリマスカラ、其際ニハ證券ノ所持人ガ證券ヲ持テ債務者ノ所ヘ參リマシテ、大藏大臣ハ此地方ノ銀行ノ救濟ニ付テ、

持當證券法案ヲ提出スル、ソレニ依シテ地方銀行救濟ノ目的ニ充テルト云フヤウナ御説明モゴザイマシタ、之ヲ拜見シマスト、抵當債券ガアルカト云フコトヲ考ヘマス

ノデヤナイカト云フコトヲ考ヘマス、證券ガアルカト云フコトハ、略、見當ガ付クノガ其都度ニ伴テ居リマセヌカラシテ、所持人ガ誰デアルカト云フコトガ不明瞭ニナ

リハシナイカト思フノデスガ、其點ハドンナモノデゴザイマセウカネ

○子爵前田利定君 此略、見當ガ付クト云フノハ、ドウ云フコトニ依テ其略、見當ガ付クトノデアリマセウカ、無論手形ノヤウニハ敏速ニハ轉々シマスマイケレドモ、其見當ヲ付ケル、其筋道ハドウ云フ所ニ依テ付ケラレマセウカ

○政府委員(森田豊次郎君) 此見當ヲ付ケマスニ付テハ、結局ハ裏書人ヲ述シテ行クヨリ途ハナイノデアリマスガ、此證券ニ付キマシテハ、手形ノヤウナ白地裏書、被裏書人ノ誰デアルカ分ラナイ、此手形裏書ノ規定ハ準用イタサナイコトニ致シマシテ、必ズ裏書ノ場合ハ被裏書人ガ、分シテ居ルカ

ト云フヤウナ状態ハナカラウト思ヒマス、ソレヲ述シテ行ケバ債務者ノ方カラ誰ノ手ニ渡シテ居ルト云フコトハ分ルト思ヒマス、ソレデハ其地方銀行ノ救濟ノ目的ニハ

副ハナイ譯デ、盜ヲ見テ縄ヲ絞フヨリカモツト緩慢ノ手段ダト思シテ居リマス、ソレデモ之ヲサウ云フ趣旨カラ致シマシテ廣く市制

地、借地法ノ制定サレテアル場所ト限ラズニ銀行へ行クト云フ位ノ關係デゴザイマシデアリマスガ、全ク誰ノ所ニアルカ分ラナイ

ト云フヤウナ状態ハナカラウト思ヒマス

○名取忠愛君 私ハ決算委員分科會ノ爲ニ此處ヘ遲刻ヲ致シマシタ、參リマス前ノ御質問ノ點モ分リマセヌガ、チヨット御質問ヲ申上ダタイト思ヒマス、本會議ニ於キマシテ、大藏大臣ハ此地方ノ銀行ノ救濟ニ付テ、

持當證券法案ヲ提出スル、ソレニ依シテ地方銀行救濟ノ目的ニ充テルト云フヤウナ御説明モゴザイマシタ、之ヲ拜見シマスト、抵當債券ガアルカト云フコトヲ考ヘマス

ノデヤナイカト云フコトヲ考ヘマス、證券ガアルカト云フコトハ、略、見當ガ付クノガ其都度ニ伴テ居リマセヌカラシテ、所持人ガ誰デアルカト云フコトガ不明瞭ニナ

リハシナイカト思フノデスガ、其點ハドンナモノデゴザイマセウカネ

○子爵前田利定君 此略、見當ガ付クト云フノハ、ドウ云フコトニ依テ其略、見當ガ付クトノデアリマセウカ、無論手形ノヤウニハ敏速ニハ轉々シマスマイケレドモ、其見當ヲ付ケル、其筋道ハドウ云フ所ニ依テ付ケラレマセウカ

○政府委員(森田豊次郎君) 此見當ヲ付ケマスニ付テハ、結局ハ裏書人ヲ述シテ行クヨリ途ハナイノデアリマスガ、此證券ニ付キマシテハ、手形ノヤウナ白地裏書、被裏書人ノ誰デアルカ分ラナイ、此手形裏書ノ規定ハ準用イタサナイコトニ致シマシテ、必ズ裏書ノ場合ハ被裏書人ガ、分シテ居ルカ

ト云フヤウナ状態ハナカラウト思ヒマス、ソレヲ述シテ行ケバ債務者ノ方カラ誰ノ手ニ渡シテ居ルト云フコトハ分ルト思ヒマス、ソレデハ其地方銀行ノ救濟ノ目的ニハ

副ハナイ譯デ、盜ヲ見テ縄ヲ絞フヨリカモツト緩慢ノ手段ダト思シテ居リマス、ソレデモ之ヲサウ云フ趣旨カラ致シマシテ廣く市制

地、借地法ノ制定サレテアル場所ト限ラズニ銀行へ行クト云フ位ノ關係デゴザイマシデアリマスガ、全ク誰ノ所ニアルカ分ラナイ

一般ニ及ボシテ、此法案ヲ御實行爲サルト
云フコトハ出來ナイノデアリマセウカ、尙
ホ一面ニ今マデ勸業銀行ハ、私ノ方ハ山梨
縣デアリマシテ、御承知ノ通り小作等議ノ
ナカノ、全國一二ノ場所デアリマス、地方
ノ郡部ノ銀行ノ經營者ハ、昨年ノ十二月以
來、私ノ方ハ市部ヲ除イテ恐ラク甲府以西
ニ現存シテ居ル銀行ハ一ツモナイ、皆支拂
停止ト稱シテ居ル、然ルニ休業ト言ハズニ
新熟語ヲ上ゲテ開店休業ト云フ怪シイ名ノ
下ニヤッテ居ル、開店休業シテ居ツタ所ガ誰モ
持ツテ來テ預ケル人ハアリマセヌ、皆請求ニ
行ク、サウスルト支拂ノ拒絕、ソコデ自己
ノ銀行ガ持シテ居ル所ノ貸付金ニ對シテハ
主モニ不動産擔保が多イ、ソレヲ此法律ガ
出來テモ、ソレヲ抵當證券法案ニ依ツテ融通
スルコトガ出來ナイ、ソレカラサウ云フ銀
行ノ頭取始メ重役ハ自己ノ責任ヲ以テ自己
ノ不動産ヲ擔保ニシテ資金ヲ得タイ、マア
外ハドウカ知レマセヌガ、私ノ方デハ勸業
銀行支店ハ……アノ場所ハ小作等議ノ場所
デアルカラ殆ド不動産ハ無價値デアル、斯
ウ云フヤウナ狀態デ幾ラノ擔保ニモ取ラナ
イ、ト云フノガ現在ノ狀態デアリマス、我
我ノ同業者ハ數回大藏省ヘモ伺ヒマシタ
シ、銀行局長ハ能ク御存ジデアリマス、ソ

レデソンナヤウナ狀態カラ此法案ガ實行サ
ノコトハ、改メテ不動産ノ擔保ニ對シテ、
ヒマスガ不動産ヲ擔保トシテ居ル銀行ガ
資金ヲ融通シタ爲ニ今行詰テ居ル、ソレ等
ヲ救濟スルノニハ、ドウモ此法ガ實施サレ
ナケレバ、ドウモ斯ウモ息ガツケヌ譯デア
リマス、我ミモ矢張リ銀行ニ關係シテ居リ
マシテ、屢々農村ノ銀行カラ何トカ心配シ
テ吳レヌカト云フコトノ話ヲ受ケマス、或
シテヤリマスガ、擔保ノナイ者ハ幾ラ大藏
省ノ御命令デモ、ヤタラ融通スル譯ニハ行
キマセヌ、其實際上……サウスルト氣ノ毒
ナガラ見テ居リナガラ、其銀行ノ休業ヲ餘
儀ナクスルヤウナ場合ガアリマス、此法案
ハ結構デアリマスルガ、是モ一步進ンデ私
ハ全體ニ之ヲ實行シ得ルヤウニ好都合ニハ
參リマセヌデセウカ、他ノ府縣ト違ヒマシ
テ、小作等議ナド一段格別ノ狀態ニアリマ
ス、只今ノ所デハ不動産擔保ナンテ普通銀
行ハ何處デモ受ケマセヌ、ソレカラ尙ホ私
係等カラ致シマシテ、直ニ全國ニ之ヲ行フト
ノデゴザイマス、唯此法律ガ相當ニ手續其
他ニ於テ面倒デゴザイマス、登記所ノ關
法律ハ全國ニ行ヒタイト云フコトガ希望ナ
大藏省關係ト致シマシテハ、實ハ此ヤウナ
關係カラモ御答辯ガアルカト思ヒマスガ、
來ルダケ早ク郡部ノ方ニ行ヒタイト云フ風
ナコトハ誠ニ必要ナコトデアラウト思ヒマ
ス、一刻モ早ク此勅令ガ全國ニ瓦ルヤウニ
致シタイト云フ風ナ積リデ居リマス次第デ
アリマス、大藏大臣カラモ御話ニナックコト
ト思ヒマスガ、一部局ノ地方ニ付テノ問題
ハ、此勸業銀行等ノコトニ付テハ、色ミナ
又御話モアルカト思ヒマスガ、大體之ヲ見
マスト云フト、今度ノ勸業銀行法ノ改正ハ、

有價證券其他外ニ擔保物件ガナイトドウシ
テモ不動産ヨリ外ニ貸セヌ、ソコデ不動產
貸ガ相當ニ殖エテ來ル、ソレハ勸業銀行ヲ
始メ、無價値ダト云々テ居リマスカラ固定シ
テチットモ貸シマセヌ、ソレデ昨年十二月半
バ以來、今日尙ホ皆休業シテ居ル、勢ヒ休
業ハ十行カラアリマス、甲府市ヲ除ク外ハ
西ノ方ハ一ツモ生存シテ居ラナイ、東ニ行
テモ、二三ボツ／＼出テ居ル、皆是デ行詰ツ
テ居ル、デアリマスカラ、ドウカ此證券法
案モ、私ハ贊成デスケレドモ、是ガ成立イ
タシマシタラ廣ク一般ニ之ヲ執行スルヤウ
ナ御方法ハ出來マセヌモノカ、ソレヲ伺ヒ
タイト思ヒマス

○政府委員(大久保慎次君) 名取サンノ御
尋ニ對シマシテ御答ヘ申上ゲマス、成ベク
地方ノ方ニ抵當證券法ヲ執行シタナラバト
云フヤウナ御意見ニ付キマシテハ、司法省
關係カラモ御答辯ガアルカト思ヒマスガ、
來ルダケ早ク郡部ノ方ニ行ヒタイト云フ風
ナコトハ誠ニ必要ナコトデアラウト思ヒマ
ス、一刻モ早ク此勅令ガ全國ニ瓦ルヤウニ
致シタイト云フ風ナ積リデ居リマス次第デ
アリマス、大藏大臣カラモ御話ニナックコト
ト思ヒマスガ、一部局ノ地方ニ付テノ問題
ハ、此勸業銀行等ノコトニ付テハ、色ミナ
又御話モアルカト思ヒマスガ、大體之ヲ見
マスト云フト、今度ノ勸業銀行法ノ改正ハ、
テ之ヲ必要ト感ズルノデス、郡村ノ銀行ハ
ノ通ツ此法案ノ末項ノ方ニ、施行ノ區域ヲ勅

マスト云フヤウナ外ニ、一般的ニ此不動産ヲ抵當トシテ居リマス所ノ債權ヲ質トスル貨出ヲ認メルコトニ今度ハナリマス、ソレデ勸業銀行、農工銀行、北海道拓殖銀行等ノ如キハ、抵當證券ノ形デ地方ノ金融ヲ滑カニスルト云フ風ナコトモ、今度ノ改正ノ一要目デアリマスガ、抵當證券法ノ行ハレナイ方面ニ付キマシテモ、不動產ヲ抵當トシテ居リマス所ノ債權ヲ抵當證權ノ形デナク、債權其モノヲ質トシテ貸付ガ出來ルヤウニ今度ハナリマス、ソレデ廣ク地方ヲ見マスト云フト、サウ云フ種類ノ債權モ相當ニ多カラウト思ヒマス、ソレデ地方ノ銀行トカ、其他地方ノ斯ウ云フ風ナ不動產資金ニ付キマシテハ、差當リ此方法ニ於キマシテ、斯ウ云フ風ナ特殊銀行ガ勵クト云フ餘地モ出來マス次第デアリマスカラ、全國的ニ之ヲ見マスト云フト、不動產ノ金融ト云フモノハ相當ニ緩和セラレルデアラウト、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス次第デアリマス

一部改正ト共ニ、政府ハサウ云フコトニ付
テ迅速ニ運ブヤウニ一ツ御傳ヘヲ願ヒタ
イ、ソレカラ登記所ノ管轄ガ數箇所ニ亘ツタ
トキニハ、一箇所デ此證券法案ニ對スル證
券ノ登記ヲスルヤウナ規定ニナッテ居ルノ
デアリマスガ、是ハ數箇所ト云フノハドウ
云フコトヲ意味スルカ、例ヘバ甲ハ市デア
ル、甲ノ登記ハ市デアリ、ソレカラ乙丙ノ
登記ハ郡部デアッテ、所謂此法ノ當分施行地
以外ノ土地デアル、斯ウ云フ場合ニハドウ
ナリマスカ、此數箇所ノ登記所ニ跨ツテ居
ル、此數箇所ハ市制地若クハ現在直ニ行ハ
ントスル地域内ノ登記所ヲ言フノデアリマ
スカ、又ハソレ以外ノ登記所ヲモ包含スル
モノト見ラレルノデアリマセウカ、其邊ヲ
チヨット……

務者其他ノ色ミノ場合ニ依ツテ一概ニ參リセヌコトデゴザイマスガ、今仰セノ通リ
斯ウ云フ風ナ方面ニ特殊銀行ガ活用ヲ必要
トスル點デゴザイマスカラ、マア此點ニ付
テハ督勵ヲスル必要ガゴザイマスカラデゴ
ザイマスガ、御希望ノ點ハ十分ニ先方ニ傳
ヘマスシ、我ニモ其趣旨デ監督イタシタイ
ト努メテ居リマス、後ノ方ノ部分ハ司法省
カラ御答ヲ願ツタ方ガ宜カラウト思ヒマス
○政府委員(森田豊次郎君) 後ノ方ノ御問
ヒニ御答ヘ致シマス、擔保ノ一つガ本法ノ
施行地區内ニアリマシテ、其外ノモノガ施
行地區ノ外ニアル、斯ウ云フモノニ付テハ
ドウスルカト云フ御問ヒデゴザイマシタ
ガ、之ニ付キマシテハ矢張リ是ハ施行地區
ヲ定メル勅令デ其點ハ決メヤウト考ヘテ居
リマス、詰リ御尋ニナリマシタヤウナ擔保
物件ノ一つガ施行地區ニアルヤウナ場合ニ
付キマシテハ、是ハ其施行地區ノ抵當權ニ
付テハ證券ヲ發行スルヤウナ趣旨ニ勅令ヲ
拵ヘマシテ、其點ヲ救濟シヤウト考ヘテ居
リマス、其例ハ借地法ガ矢張リ限地的ニナッ
テ居リマス、借家法デゴザイマスカ、借家
法ニ跨ツテ居リマス場合ニハ、ソレハ其部分
ニ付テ施行スルト云フ施行地區ヲ決メテ居

○水上長次郎君 チヨット大藏省ノ御方ニ
モウ一度御伺ヒヲ致シマスガ、勸業銀行
外ニ銀行ノ貸金ニ對スル辨済ノ方法ニ付テ
先程チヨット御尋ヲ致シマシタガ、辨済期限
ガ到來シテ直グニ拂フ者ハ少ナイガ、或ハ
延期ヲ求メル者モアル、或ハ一部辨済スル
者モアル、事實抵當不動産ヲ競賣ラスルト
云フコトハ至ラテ少ナイ、斯ウ云フ御話デゴ
ザイマンシタ、ソコデ私ガ更ニ御尋ヲ致シタ
イノハ貸金ノ辨済期ガ到來シテカラ、愈々借
錢完了マデノ日數ハ凡ソドレ程要スルモノ
デアルカ、ソレハ十日デ拂フ者モアルノデ
アリマセウシ、三月デ拂フ者モアリマセウ
ガ、平均日數ハ凡ソドレ程掛ルモノデアル
カ、其邊ノ御調べガアレバ、表デモアリマ
スレバ例ヘバ百件ニ付キ三十件ハ一年ノ
間、後ノ三十件ハ一年後トカ云フ表デモア
リマシタナラバ其表ノ御示シヲ願ヒタイ
○政府委員(大久保慎次君) 勸業銀行等ノ
辨済ノ關係ニ付キマシテハ先程ノ御尋ニ付
キマシテ私ガ御答ヲ申上ゲタノハ期限通り
ニ納メテ居リマス場合ガ大部分デゴザイマ
スノデ、先程申シタ通り勸業銀行デ例ヲ申
シマスルト、百分ノ内ノ九十八マデハ期限

通り納メテ居リマス、百分ノ内ノ二ダケガ

延滞ニナリマス、ソレデ其延滞ニナリマス

分ノ中デ抵當物ヲ競賣スルノガ幾ラ位アル

ダラウト云フ御尋ガゴザイマシタノデ、其

貸付ノ比例カラ見マスルト僅ニ一厘ニ満タ

ヌト云フ斯ウ云フヤウナ形ニナッテ居リマ

ス、延滞ノ方ガ百分ノ二デゴザイマス、ソ

レカラシテ競賣ノ方ハ分マデ參リマセヌデ

分ノ下ノ一厘デゴザイマス

○水上長次郎君 期限到来シテ直グ拂フノ

ガ……

○政府委員(大久保慎次君) ソレハ百分ノ

九十八ト云フ位ノ成績ニナッテ居リマス、是ハ

御承知ノ通り特殊銀行法ハ法律ガ固ク出來テ

居リマスカラ、斯ウ云フ風ナ普通銀行デ出來

ル事柄モ、全部勸業銀行デハ甚ダ法律ガ固ク

出來テ居リマス次第デゴザイマスカラシテ、

成績ガ非常ニ良好デアルト云フコトニナル

譯デアラウト思ヒマス、ソレデ只今仰セノ

滯テ居リマス百分ノ二ノモノニ付キマシ

テ、ドノ位ノ日數デ返スデアラウト云フヤ

ウナコトハ實ハ統計ヲ取テ居リマセヌ、併

シ是ハ延滞ガ一回デ済ム場合モアリマス

シ、二回ノモノモアリマスシ、三回ノモノ

モアリマス、各場合ニ依テ達シテ參リマス、

其間ノ一括シタル統計ヲ實ハ取テ居リマ

セヌ次第デアリマス、サウ云フ風ナ工合ニ

御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○水上長次郎君 サウスルト百分ノ九十

八、ソレハ一部延期ト云フヤウナモノハ除

スカ

イク上ノ話デゴザイマスカ、總テ入レテデ

スカ

○政府委員(大久保慎次君) 一部拂ヒマシ

テ、ソレデ契約ヲ改メマシテ、ソレデキチ

ンチキント行シテ居ルモノハ皆此百分ノ九

十八ノ方ニ這入シテ居リマス、百分ノ二ト申

スノハサウ云フ風ニキチンシト行シテ居

ナイ方デアリマス

○子爵前田利定君 駄ニ御質問ガアッタカ

モ知レマセヌガ、一般的ニ農村ノ方ニ施行

シナイト云フノハ、財政關係ノ點ガ重點デ

アラウト思ヒマスガ、今度ノ費用ハ何万圓

位デゴザイマスカ、五十何万圓ト云フヤウ

ニモ聞イテ居リマスガ如何デスカ

○政府委員(大久保慎次君) 豫算ノ方ハ實

ハ司法省カラ提出シテ居ルヤウナ次第デア

リマシテ、私モ書類ハ持シテ居リマスガ、是

ハ司法省ノ方カラ御答ヲ願フコトニ致シタ

イト思ヒマス

○子爵前田利定君 若シ之ヲ一般農村ニ及

ボストスレバドノ位ノ經費ヲ要シマスカ、

ヤウデスガ……

○政府委員(森田豊次郎君) 一般全國ニ施

行スルトドノ位ノ經費ガ掛カルカト云フコ

トノ調べハ致シタコトハナイノデアリマス

ガ、全國ニハ登記所ガ約千八百弱、千七百

幾ラト云フ數ガゴザイマス、ソレニ施行イ

タシマスノニ付キマシテハ、矢張人ヲ増サ

ナイデ、現在其儘デ施行シテ宜イ所モアリ

マスガ、中ニハ相當人ヲ増スモノモゴザイ

マシテ、餘程經費ガ殖エルト思ヒマス、今

目的地ト致シテ居リマス所ハ、登記所デ申

シマスト百四十二アリマス、百四十二ノ登

記所ガ管轄スルコトニナリマス、其中デ一

万件以上登記件數ヲ取扱シテ居ル登記所デ、

書記一人ト雇一人ヲ増シ、ソレカラ五千件

以上ノ件數ヲ取扱シテ居リマス所ニ書記一

人ヲ増ス、ソレカラ既存ノ抵當權ナドガ澤

山アリマスガ、其分ヲ處理スルノニハ臨時

雇ヲ使ヒマシテ略、五十萬圓程金ガ要ルコト

ニナリマス、サウデアリマスカラ之ヲ全國

ニ施行イタシマスト云フト、費用ノ點カラ

云シテモ隨分金ガカヽリマス

○子爵前田利定君 ドノ位カヽリマスカ

ヨット計算ガ出來テ居リマセヌガ、登記所ニ

付キマシテ、先づ大體ハ五千件グラキガ手

一杯ト見テ居リマス、其五千件以上ヲ取扱

テ居ル登記所ヲ調べ出シマシテ、是ハ直グ

出來マスコトデスガ、是ハ大體見當ガ付ク

ト思ヒマス

○子爵前田利定君 大體ノ見當デ云フト、

若シ一般ニ及ボシタナラバドノ位ノ經費ガ

カヽルカ、私ガ伺ヒタイ點ハ一般的ニ御施

行ニナラヌト云フノハ一面ニ於テハ、財務

關係ガ矢張リ原因シテ行クンデヤナカト

思フ

○政府委員(森田豊次郎君) 一般ニ行ハナ

イト云フコトハ財務關係モ多少アリマスガ、

實ハ斯ウ云フ譯デゴザイマス、此法律ハ

非常ニムツカシイ法律デ、ソレヲ登記所デ

行ハレマシテ、若シ間違ヒガ起リマスト、

大變利害關係ヲ及ボス範圍ガ廣イ、ソレデ

先づ之ヲ小數ノ範圍デ監督ノ行届ク所デ行

ヒマシテ、サウシテ之ニ登記所ノ書記ガ慣

レタ時ニ漸次ニ行ハスノガ、此法案ヲ生カ

シテ、此法案ヲ無事ニ行フノニ都合ガ宜イ

デヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘタ、ソレカラ

拉斯ウ云フコトモ一つハアルノデアリマス

ガ、ドウシテモ都會ノ方ハ文化ガ發達シテ

居リマスカラ之ヲ申請スル人ニシマシテ

モ……先づ都會ノ方ラ施行イタシマシテ、

サウシテ都會ノ方ノ利用、都會ノ方デ利用

ノ途ノ研究が積シテ來テソレガ全國ニ行ハレレバ宜イ、斯ウ考ヘテ居リマス、費用ノ點バカリデ實ハ全國ニ行ハナイト云フノデハナイ

○子爵前田利定君

漸次ニ段々範囲ヲ擴メラレテ行カレル御考ノヤウデスガ、ソレニ付テ凡ソ大體ノ御計畫デモ付イテ居リマスカ、唯漸次ニシタイト云フダケノ話的確ナ……漸進主義ニシテモ凡ソ何箇年間ノ先ニハ斯ウ云フ風ニスルト云フヤウナ目鼻ダック御計畫デモアルノデスカ

○政府委員(森田豊次郎君)

只今ノ所デハサウ云フ計畫ハアリマセヌ

○子爵前田利定君 サウスルト漸次ニ擴ゲテ行クト云フ御方針ダケハ確立シテ居ルノデスカ

○政府委員(森田豊次郎君)

其方針ダケハ確立シテ居リマスガ、一年後ニ是ダケ擴メル、二年後ニハ是ダケ擴メルト云フ具體的ノ計畫ハマダ出來テ居リマセヌ

○政府委員(大久保慎次君)

大藏省側ト致シマシテハ、出來ルダケ早ク全國ニ廣メタル、出來ルダケ早ク全國ニ廣メタキマシテハ初メカラ實ハ我ミノ方トシテハ相當ノ收入モ伴フ積リデ居リマス譯デアリマス、今度ノ豫算ニ付テモ收入ノ方モ豫定

シテゴザイマス、少々アル豫定デ提出ニナッテ居リマス、デ數字デ私ノ手許ニ於テ豫定シテ居リマスノハ、初年度ハ準備其他ニ掛カルカラ、五十万五百四十八圓デアリマスガ、平年度ハ現在ノ施行地域ダケデ二十四萬二千三百四十四圓、サウ云フコトニナリマス、二十何万ト云フ金額デゴザイマス、我ミノ方ト致シマシテハ、運用宜シキヲ得タナラバ、成ルベク早ク實行イタシタイ、元來之ヲ打明ケテ申上ダマスト、此法律ガ若シ餘リ非常ニムヅカシイモノデナイナラバ、一箇年トカ二箇年トカ云フ研究期間ヲ置キマシテ、全國一時ニ行フト云フコトモ一つノ方法デナイカ、サウ云フ風ニモ考ヘテ居リマシタガ、併シ、一面相當難解ノ法律デモゴザイマスシ、又多少實蹟ヲ見テヤツテ行クト云フコトガ……出テシマッタ有價證券デアリマスカラ……登記所ノ出ス有價證券ニナリマスデスカラ、官吏ノ責任モ隨分アリマス譯デアリマス、出テシマッタ後ニ少シマダカッタ云フノハ世ノ中ニ申譯ガナイコトニナリマスカラ、ソレ等ノ關係カラ慎重ニシヤウト云フコトニナリマシタノデ、政府ノ方トシテハ、我ミノ方トシテハ成ルベク早ク、而モ名取サンノ方カラモ水

點ハ我ミモ十分考ヘテ居リマス、出來ルダケ實際上ノコトニ付テ安心ガ出來ルナラバ、シテ居リマスノハ、初年度ハ準備其他ニ掛カルカラ、五十万五百四十八圓デアリマスガ、平年度ハ現在ノ施行地域ダケデ二十四萬二千三百四十四圓、サウ云フコトニナリマス、二十何万ト云フ金額デゴザイマス、我ミノ方ト致シマシテハ、運用宜シキヲ得タナラバ、成ルベク早ク實行イタシタイ、元來之ヲ打明ケテ申上ダマスト、此法律ガ若シ餘リ非常ニムヅカシイモノデナイナラバ、一箇年トカ二箇年トカ云フ研究期間ヲ置キマシテ、全國一時ニ行フト云フコトモ一つノ方法デナイカ、サウ云フ風ニモ考ヘテ居リマシタガ、併シ、一面相當難解ノ法律デモゴザイマスシ、又多少實蹟ヲ見テヤツテ行クト云フコトガ……出テシマッタ有價證券デアリマスカラ……登記所ノ出ス有價證券ニナリマスデスカラ、官吏ノ責任モ隨分アリマス譯デアリマス、出テシマッタ後ニ少シマダカッタ云フノハ世ノ中ニ申譯ガナイコトニナリマスカラ、ソレ等ノ關係カラ慎重ニシヤウト云フコトニナリマシタノデ、政府ノ方トシテハ、我ミノ方トシテハ成ルベク早ク、而モ名取サンノ方カラモ水

スハモウ十二時ニナリマシタカラ、此處ハ延會イタシマシテ、又午後御出デニナッテ居リマスレバ、一時半頃カラデモ開イタラ如モ度ミ御話ニナッテ居リマス、附加ヘテ置キマス

○子爵前田利定君

大藏當局ノ方デサウ云

フ風ニ一般ニ之ヲ及ボスト云フ御方針ガ確立シテ居ルト云フコトデアレバ、安心ガ出来ルト思ヒマスガ、サウデナイ唯一時のニ、

唯目前ノ場合ダケト云フコトニナルト、傳ヘル所ニ依ルト、銀行救濟ト云フヤウナ聲ヲ聞クヤウナコトニナリマスカラ、只今承

リマスレバ、事務上ニ於テモ難解ノ節モアリ、又練熟シナケレバナラヌカラ、慎重ニヤラナケレバナラヌト云フ御事由ガアッテ一般ニ廣メルコトガ出來ナイト云フコトデアレバ、已ムヲ得マセヌ、大體ノ御話ヲ承

リマシテ了承イタシマシタ

○水上長次郎君 私ハ司法省ノ御方ニモ二三御質問ヲ致シタイト思フガ、丁度十二時

○委員長(子爵伊東祐弘君)

ソレデヤ是デ

延會イタシマシテ午後一時半カラ續イテ大體ノ御質問ヲ願ヒマス、ソレカラチヨット申上ゲマスガ、無盡法中改正法律案ガ本會議

ニ於テ又此委員ニ付託ニナッテ居リマスカラ、是ハ大體今ノガ御濟ミニナッテカラヤッ

テ行キタイト思ヒマス、ソレデヤ午後一時半カラ開會イタシマス、是デ休憩イタシマス

ニナッテ居リマスカラ、若シ畫カラデモ續イニナッテ居リマスカラ、若シ畫カラデモ續イ

テ御開キニナルナラバ、畫カラ、若シ今日ハ御止メニナルナラバ、次回ニ、何レニシテモ次回ニ御質問シタイコトガアリマスガ……

午後零時一分休憩

午後一時四十五分開會

○委員長(子爵伊東祐弘君) 是ヨリ午前ニ引續キマシテ抵當證券法案外九件特別委員會ヲ開會イタシマス

○委員長(子爵伊東祐弘君)

何デゴザイマ

○政府委員(森田豊次郎君)

今朝御答ヘシ

マシタ所ニ間違、タ點ガアリマスノデ取消
ヲ致シマスガ、ソレハ此共同擔保ガ施行ト
施行地區外トニ跨フテ居ル場合、勅令デサウ
御答ヘ致シテ置キマシタノハ、私ノ全ク間
違デアリマシテ、サウ云フモノヲ許シマス
ト云フト、其結果全國ニ此法ヲ施行シタト
同ジヤウナコトガ起リマスノデ、是ハ矢張
リ施行地區内ダケノ問題デアリマシテ、施
行地區外ニ在ル物件ガ共同擔保ニナッテ居
ル場合ニハ、證券ハ發行出來ナイト云フコ
トニ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、其點ダ
ケヲ取消ヲ致シマス

○水上長次郎君 チヨット今ノ御方ニ御尋
ネシマスガ、本法ハ何カデ見マシタカ、承
リマシタカドウカ知リマセヌガ、施行期日
ハ本年ノ七月トカ云フコトニ聞イタヤウデ
スガ、ソレニ違ヒゴザイマセヌデスカ

○政府委員(森田豊次郎君) 七月ト云フコ
トヲ民事局長カ衆議院ノ委員會ノ席上デ申
上ゲマシタノハ、ソレハ間違デアリマシテ
六月一日カラ施行スルコトノ豫定デゴザイ
マス

○水上長次郎君 本法ヲ全國一般ニ施行セ
ズシテ或ル區域ヲ限フテ一時……當分施行
スルト云フコトニ致スノデアル、其譯ハ登

記官吏ノ本法ニ付テノ練習トカ或ハ研究ト
カ云フコトニ付テハ、ナカムサウ全國多
く所デアルカラ、人數デアルカラ一時ニ出
來ヌカラ、要スルニ練習ノ爲ニ或ル部分ニ
限フテ施行ラシナイコトニシタ、斯ウ云フ御
話デアリマシタガ、私共實際登記ノコトニ
與タ者デアリマセヌカラ、詳シイコトハ分
リマセヌガ、本法ガ施行ニナッタラ餘程ドウ
モ登記所ノ吏員ノ撰擇ノ上ニ付テ、又練習
スルニ付テモ非常ノ登記所ニ取フテハ變動
デアラウト思フノデス、固ヨリ今日迄デモ
所ノ事柄ハソレハ無論重大ナコトニ違ヒナ
イノデアリマスガ、併シ本法施行後ニ證券
發行ノ事務ニ付テハ一層重大ナル事柄デア
ラウト思フノデス、毎々政府委員カラモ御
話ニナリマス通り、證券ト云フモノハ殆ド
他ノ有價證券ト異ル所ガナインデアリマ
ス、證券其モノガ殆ド現金同様ノヤウナ價
値ヲ有フテ居ルト云フヤウナ次第デアリマ
スカラシテ、之ヲ作製スルニ付テハ唯法規
一片ニ依フテ爲スバカリデナクシテ、非常ノ
判断力モ要スルデアラウシ又思考力モ要ス
ルコトデアリマスカラ、唯筆ト紙ト算盤等
ガアッタラ宜イト云フモノデアルマイト思
フ、若シ間違ヲ起シタナラバ非常ナ影響ガ

債權者ナリ債務者ニ及ボス次第デアリマス
カラ、餘程此吏員ニ付テハ十分ノ練習ヲ爲
スナケレバナラヌ必要ガアルト考ヘテ居ル
カノ一向差支ナイト云フコトデアリマスガ、
カノデアリマス、然ルニ六月カラ之ヲ實施シ
カ、或ハ試ミニヤッテ見ヤウト云フヤウナ、
所謂試驗的ニ爲サル積リデアルカ、併ナガラ
一旦時日ヲ定メテヤッテ見タガ思ハシタナ
イカラト云フテ止スト云フ譯ニソレハ行キマセ
ヌガ、是ハ餘程重大ナコトデアラウト思フ、
ソコデ是ハ或ハチト御尋スルノハ御無理カ
モ知レマセヌガ施行區域ヲ限ラレタノハ、
今申上ゲマシタヤウナ事情モアルト共ニ、
抑、此本法ノ實施ニ付テ十分ノ確信ガナク
シテ、先づ試シニヤッテ見テ若シ巧ク行フ
タナラバ他ノ地方ニモ及ボス、サモナカッタ
ナラバ此儘置クト云フ御考ガアルデハアリ
マセヌカ、是ハチト立入タコトニナッタ次第デア
リマス、無論新シイ法律ノコトデアリマス
カラ其結果ドウナルカト云フコトハ豫期シ
得ベカラザル所デアリマスケレドモ、今ノ
所試驗的ニ出スト云フコト迄確信ノナイ案
デハナイノデアリマス、尙ホ是ハ前ニ大藏
省ノ方カラモ御話ガアッタコトト存ジマス
ガ、施行地區ノ關係ニ付キマシテハ多少經
濟的ノ關係モアルコトト存ジマス、其方ハ
若シ何デシタナラバ大藏省ノ御方カラ説明
ヲ願フコトニ致シマスガ……

○政府委員(長島毅君) 六月一日カラ施行
シテ、ドウシテモ間ニ合ハナケレ
ガ、只今ノ所ハ六月一日カラ實施スル豫定
マシテハ凡ソドレ程ノ經費ヲ要スルモノデ

アリマスカ、ソレヲ一ツ承ハリタイ、固ヨ
リ人件費モアリマセウシ或ハ又帳簿ヲ持ヘ
ルトカ、色ニノ費用モカカルモノダラウト
思ヒマスガ、ドレ程要シマスカ

○政府委員(長島毅君) 大體初年度ノ豫算

ガ五十万圓ト少シニナリマス、ソレカラ次
年度カラハ二十餘万圓位ノコトカト思ヒマ
ス、其中ニハ人件費、ソレカラ今申シマシ
タ會同ヲ致シマス旅費デアリマストカ、ソ
レカラ用紙ノヤウナモノガ相當掛カリマ
ス、サウ云フヤウナ費用全部ヲ包含致シテ
居リマス

○水上長次郎君 現在登記事務ニ從事シテ

居リマスル者ハ繁華ナ都市ノ方ハ別ト致シ
マシテ、片田舎ニナリマスルト、片田舎ノ
中デモ都市ト云フヤウナ方面デハ是迄居ル
書記ノ外ニ、ソレニ雇デモ置イテソレニ補
助デモサセテ、マアカツヽ形式的ノ登記
事務ヲ執ラウト云フ御考デアラウト私ハ想
像シテ居リマス、サウスルト本法ガ實施ニ
ナリマストサウ云フコトデハ餘程危イデア
ラウト思フ、ソレデ書記一人ヲ置イタ所ヲ
二人ニスルトカ、或ハ一人ノ所デ雇ノ経験
ノナイ、又法理上ニ付テ餘リ知識ノナイヤ
ウナヲ補助トシテヤル、補助ト云ウテハ
少シ語弊ガアルカ知リマセヌガ、サウ云フ

ヤウナコトハ此際改メル御積リデアリマス
カ、雇ナドヲ補助トシテヤルト云フヤウナ
一時ノ此姑息ナヤリ方ヲ此際止メルト云フ
ヤウナ御考デアリマセウカ、ソコハドウ云
フモノデセウカ

○政府委員(長島毅君) 大體此施行地區ハ
市デアリマシテ、詳シイコトヲチヨット申上
ゲルコトハ出來マセヌガ、區裁判所ニ屬シ
テ居ル登記所ガ其大多數ヲ占メテ居ルト存
ジマス、ソレデアリマセヌデモ市ニ……此
東京市等ハ隣接地區等モ施行イタシマスノ
デアリマスガ、サウ云フ所ニシマシテモ監

督區裁判所カラ近イ距離ニ在ル所デアリマ
スカラ、法律上ノ見解等ニ付キマシテハ判
事ト相談ヲスルヤウナ機會ガ非常ニ多イコ
トト存ズルノデアリマス、尙ホ抵當證券ノ
發行行爲、ソレ自身ハ極メテ機械的ノコト
デアリマシテ、殆ド登記簿ソレ自身ヲ抵當

證券ノ印刷ヲ致シマシタ形式ノ中ニ書込ム
ト云フコトニアリマシテ、其書込ミヲ間違
ヘナケレバ宜イノデアリマス、尙ホ催告ニ
致シマシテモ催告書ノ記載事項等モ極シテ
居ルコトデアリマスカラ極ク機械的ノコト
デアリマスガ、併ナガラ御説ノ通リムヅカ
シイ法律ヲ運用スルノデアリマスカラ、法
律ノ精神ヲ知ラナイデ唯機械的ニ仕事ヲヤ

セラレル所ノ抵當債權ニ付テハ權利ヲ失フ
ト云フコトニナリハシナイカト思フノデア
リマス、例ヘバ抵當附ノ地所ヲ買フ、固ヨ
リ抵當ハアッテモ抵當ハ極ク少額デアッテ、
不動產ノ價格ト云フモノハ當抵以外ニ非常
ニ多イカラ、買ツタ方ガ宜イト云フ考デ買フ
コトハソレハ幾ラモアリマス、然ルニ若シ
證券ノ支拂ガ期日ニ於テ出來ナカッタ時ニ
ハ三箇月内ニ競賣ニ付セラレルノデアリマ
ス、然ルニ其競賣ヲスルニ付テハ一片ノ通
知モ所有者ニセズシテ、勝手次第ニヤルト
云フコトニナッテ居ル、サウスルト云フト其
不動產ヲ所有シテ居ル者ハ、實際所有權ヲ
持ツテ居リマシテモ容易ニソレヲ賣ルコト
ガ出來ナイト云フコトニナッテ來ル、ト云フ
ノハ買フ者モ買フコトガ出來ナイ譯デス、
又第二第三ノ抵當權者ニシテモ矢張リ同様
デアッテ、萬一證券ニ對スル支拂ガ出來ナ
カッタ時ニハ、無斷デ以テ其地所ヲ賣却シテ
シマフ、ソレデ其事ヲ承知シテ居レバ或ハ
自分ガソレヲ買受ケル、或ハ人ヲ以テ買受
ケセシムル、サウシテ成ルベク其不動產ヲ
ノデアリマス、併ナガラ無斷デ以テヤラレ
自分ノ手ニ收メルト云フヤウナ便宜モアル
ルト云フトサウ云フコトハ出來ナイ、サウ

スルト第一、第三ノ抵當權者ト云フノハ全
ク無駄ナ、無價値ナモノヲ持ッテ居ルト同
様ナコトニナル、サウ云フヤウナコトデハ
抵當物件ニ對シテ權利ヲ有シテ居ル者ガ、
非常ナ迷惑ヲ受ケヤシナイカト思フノデア
リマス、ソレ程迷惑ヲ與ヘテモ尙ホ此證券
ノ流通ヲ圖ラナケレバナラヌカト云フコト
ニ、私一ツノ疑問ヲ持テ居ルノデアリマ
ス、申シマスルノハ必ズ此固定資本ノ流通
ヲ圖ルニハ抵當證券ヲ發行セナケレバナラ
ナイ、發行スルノガ唯一ノ目的方法デアッ
テ、其外ニ何等目的ガナイト云フソナラ仕
方ガゴザイマセヌガ、併シ今度勸業銀行ノ
條例ノ改正ニモアリマス通り、債權證書ヲ
バ抵當ニ取ルト云フコトニナルデス、
又其抵當ニ取ル方法ニ於テハ是ハ或ハ貸付
ケルト云フコトニナルカ、或ハ手形トシテ
之ヲ取ルカ、ソレハマア別ノ話デアリマス
ガ、サウ云フヤウナ方法ガアレバソレハ唯
單ニ勸業銀行ナリ、農工銀行ノ條例ヲ改正
シタラモウ容易ニ出來ルコトデアル、サウ
シテ又其種々ノ方法ヲ許シタナラバ固定資
本ノ流通ハ餘程圓滿ニナルト云フコトハモ
ウ明カデアリマスガ、其圓滿ノ差ト云フモ
ノハ證券ヲ發行シテ居ル所ノ圓滿ト同様ニ
ハ行キマスマイケレドモ、今日ノ現狀カラ

○政府委員(長島毅君)

考ヘマスト云フト、非常ニ固定資本ト云フ
フ、私ノ伺ヒタイノハ抵當物件ニ對シテ色
色權利ヲ有シテ居ルモノノ利益ヲ先キニ申
上ゲル通リ害シ、尙ホ又抵當債權ヲバ質入
スルノ方法ガアルニモ拘ラズ、殆ド手形ト
同様ナル證券ヲ發行セナケレバナラナイト
云フ一つノ理由ヲ承ハリタイノテアリマス
○政府委員(長島毅君) 抵當證券發行前ニ
第三取得者ガアル場合ニハ、是ハ、第三條
ノ規定ニ依リマシテ第三取得者ノ同意ヲ
要シマスノデアリマスカラ、抵當證券發行
發行前ノ第三取得者ハ、是ハ何等ノ害ヲ受
ケルコトガナイコトハ御承知ノ通リデゴザ
イマス、唯仰セノ如クニ抵當權ヲ發行シタ
後ニ於テハ多少ノ第三取得者ガ不利益ナ地
位ニ置カレマス故ニ、結局其土地ガ、抵當
附ノ土地ハ所有權ノ移轉ノ目的物トシテハ
多少邪魔ニナル抵當權ノ發行ガ邪魔ニナル
ト云フコトガアルト云フノハ、ソレハ御說
ノ通リデアリマスガ、併シ御想像ノ如クソ
レ程ヒドイコトニハナラナイダラウト存ジ
マス、ソレハ本法ニ於テハ抵當證券ノ無記
名裏書ヲ禁止イタシマシタカラ、結局全部
拂ハ……利子ハ少クトモ先ヅ返済毎ニ支拂

ガアルモノト大體見テ宜シウゴザイマス、勿論支拂ガナケレバナラヌ、無イ時ニハ直ニ元本…二年支拂ガアリマセヌト元來ノ返済期ガ参リマスト云フ云コトニナリマスガ、サウ云フ一ツノ強イ利裁モアルコトデアリマスルカラ、利子ハ大體ニ於テ收マルト見テ宜イト存ジマスガ、サウ致シマスレバ利子ハ或ハ債權者ノ所ヘ持テ参リマストカ、支拂場所ニ持テ參ルノデアリマスカラ、所持人ト云フコトハ大抵分ルコトト存ジマス、即チ無記名裏書ヲ禁ジマシタコトト、利子ノ支拂ト云フヤウナ關係カラ所持人ハ略ボ分ルダラウト思ヒマス、殊ニ是ハ手形ノ如クニサウ非常ニ轉々スルモノトハ想像サレマセヌノデ、先ヅ轉々致シマシテモニツカ三ツ位ノ程度デアリマスカラ、順次調べテ行ケベ是ハ大抵分ルノデアリマシテ、第三所得稅カ證券ノ所持人ガ分ラナイデ困ルト云フヤウナコトハ餘リ澤山ナイコトカト存ジマス、尙ホ三箇月内ニ競賣ヲシナケレバ ナラヌコトニナッテ居リマスルカラ、競賣數ハ多少ハ殖エルコト存ジマスケレドモ、併ナガラ矢張リ其時期ガ非常ニ債務者ニ不利益デアリマスヤウナ場合アリマスト、債務者竝ニ償還義務者タル裏書人ノ所ヘ行シテ何トカ話ヲ付ケルコトト

存ジマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、結局ハサウ非常ニ是デ競賣ガ殖エルモノト思ハレマセス、旁、以テ此發行ニ依ッテ第三取得者ガサウ御想像ノ如ク不利益ナコトニナルトハ思ッテ居ラヌノデアリマス

○水上長次郎君 私ノ伺フタ所ノ眞意ハチヨット私ノ申シヤウガ惡カツタノデ、或ハ御了解ニナラナカツタカモ知レマセヌガ、抵當證券ヲ發行イタシマスルト云フコトニ致シマスト、現行法ノ下デ發行イタシマスルト云フト、先程申上ゲタ通り、抵當證券ヲ所有シテ居ル所ノ色ミノ權利者ト云フモノハ、大變迷惑ヲ受ケル、又債務者モ同様ニシテ權利ヲ有シテ居ル者ガ迷惑ヲ受ケル、其土地ヲ利用スルコトガ出來ナイカラ迷惑ヲ受ケルノデアリマスカラ、其利用スル本人、即チ債務者ニ於テノ迷惑ニナルコトハ、固ヨリ論ヲ俟タナイノデアリマスガ、唯私ノ伺ヒタイノハ、此證券ヲ發行イタシマシテモ、必ズシモ手形ト同様ナ形式性質ヲ持タシメナケレバナラヌ譯ノモノデハアルマカラ、手形ト殆ド等シイ證券ヲ發行スルニシテモ、動産ニ對シテ有シテ居ル所ノ諸諸ノ債權者ヲ餘リ害シナイ程度デ、發行シテハドウ云フモノデアラウカト云フコトヲ

私ハ伺タノデアリマス、既ニ政府委員ニ於カレマシテモ、債務者ナリ、ソレカラ權利者ナリ多少不便ト不利益ヲ受ケルト云フコトハ御認メニナッテ居リマスカラ、其不便ノ程度ヲ今一層緩メテ、固定資本ノ流通モ一通り出來ル、又ソレガ爲ニ不動產ヲ持ッテ居ル者、及ビソレニ對シテ權利ヲ持ッテ居ル者ナリニ、特別ナル迷惑ヲ與ヘナイト云フ程度デ發行スルコトガ出來ナイカト云フコトヲ御尋スルノデ、ソレハ一ツ例ヲ以テ申シマセウナラバ、本法ニ依リマスト云フト、其證券ノ讓渡ノ方法ト云フモノハ裏書ヲ以テスルバカリデアリマス、登記スルコトハ要シナイ、ソレデアリマスカラ、其抵當證券ニ對シテ何カ方法ガアッテ權利デモ得ヤウト云フ者ハ、其不動產ニ對スル權利ハ如何ナル狀態ニナッテ居ルカト云フコトヲ知ルコトガ出來ナイ、或ハ一部ノ返済ニナッテ居ルノモアラウシ、或ハ債務者カラ言ヘバ、一部返済ニナッテ居ルト云フケレドモ、謄本ニサウシマスルト云フト、抵當ノ不動產ノ證券ヲ發行シタモノニ對シテハ、何人モ振り向イテソレニ思惑ラシナイトニナル、ソタシメナケレバナラヌ譯ノモノデハアルマカラ、手形ト殆ド等シイ證券ヲ發行スルニシテモ、動産ニ對シテ有シテ居ル所ノ諸諸ノ債權者ヲ餘リ害シナイ程度デ、發行シテハドウ云フモノデアラウカト云フコトヲ

在ノ證券面ニ於テハ、如何ナル狀態ニナッテ居ルカ分ラヌガ、ソレハ初メノ債權者、即チ第一番ニ裏書ヲシタ人カラ段ミト順ヲ追ッテ調べテ行ッタラ分ルヂヤナイカ、ソレハドウモ机上デハサウ云フコトハ宜イトモ言ハレマスケレドモ、實際サウ云フコトハウナラバ、本法ニ依リマスト云フト、其證券ノ讓渡ノ方法ト云フモノハ裏書ヲ以テスルバカリデアリマスカラ、是ハ殆ドモウ問題ニナラヌヤウニ存ジテ居リマス、尙ホ此裏書ニ依ッテ轉々イタスコトハドモ此抵當證券法トシテハ殆ド已ムヲ得ナリ所デアリマシテ、土地ヲ資金化シテ流通ヲ便利ニ致スト云フコトハ、是ハ寧ロ主トシテ債務者ノ利益ヲ圖ッタノデアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、ソレガ抵當權ノ目的トナリ、金融ノ目的トナッテ便利ニ通スルト云フコトハ、是ハ債務者ノ利益デアリマス、併ナガラ他方ニ於テ金融ヲ便利シテモ強ク致サナケレバナラヌ、強クシマシタ後ハ……後カラ見レバソレハ債務者ガ不利益ニナッテモ仕方ガナイノデアリマスカラ……サウ云フ風ニシナケレバ矢張リ融通ガ出來ナイノデアリマスカラ、其點ハドウモ已ムヲ得ナイ結果デヤナイカト有ズル

○政府委員(長島毅君) 是ハ各條へ入シテ

○政府委員(森田豊次郎君) サウデス

○水上長次郎君 只今御尋ヲスルニ付テ、

例トシテ二重取ノコトヲ申上ゲマシタガ、

二重取ノヤウニ惡イコトヲスルヤウナ者

ハ、是ハ殆ドマア絶無ト云フヨリハ殆ドナ

イ、如何ニモ突飛ノ例ヲ引イタヤウニ御話

デアリマシタガ、私ハ詳シイコトハ知リマ

セヌケレドモ、チヨイノヽ或人カラ聞クト、

高利貸ナドト云フ者ハ非常ニ残酷ナコトヲ

スル、二重取ヲ平氣デヤル、ソレガ常ダト

云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、ソコ

デ不動産ヲ抵當ニシテ金ヲ貸ス者ハドウ云

フ方面ノ人ガ多イカト云フコトヲ見マスト、

大藏省ノ方ノ説明ニナリマス通り、六十二

億圓ノ中デ勸業銀行トカサウ云フ特殊銀

行、大藏省ガ特別ニ監督ヲセラレテ居ル半

官半民ノ性質ヲ持ッテ居ル銀行ハ僅ニ十二

億万圓ヨリ貸シテ居ラナイ、其外ト云フモ

ノハ皆高利貸カ、或ハマア普通銀行モア

リマセウ、特殊銀行ノモノアリマセウカ、

餘リ筋ノ立派ナ人デナイ方ガ隨分多カラウ

ト思フ、デアリマスカラサウ云フコトハ私

ハ實ハ高利貸カラ不幸ニシテ、或ハ幸ニシ

テデアリマスカ苦シメラタコトハアリマ

セヌガ、聞ク所ニ依ルト實ニ殘酷ナコトヲ

ヤルサウデアリマス、政務官ニ於テモソレ

ハ御承知デアルカナイカモ知レマセヌケレ

ドモ、是ハ實際アリ得ルコトグラウト思フ、

ソレデ實ハマア御尋シタノデアリマスガ、

モウ此事ニ付キマシテハ申上ゲマセヌガ、

タガ、支拂ヲシタ時ニ必ズ證券ニ記入スル、

是ハ債務者ノ面前デ記入スル、成程普通カ

ラ申シマシテハソレガ相當デアリマスケレ

ドモ、法文ノ上デハサウ云フコトガ書イテ

ナイノミナラズ、隨分誤魔化サウト思ヘバ、

或ハ瞞著シヤウト思ヘバ、ソレモ受ケタ所

面倒ダカラ受取ヲ上ゲテ置キマセウト云フ

ヤウナ、一時ヲ瞞著スルコトガ必ズ實際ニ

アリ得ルコトデアラウト思フ、是マデ民間

ノ證券ガ何處ニアルカ分ラヌカラ、兎ニ角

面倒ダカラ受取ヲ上ゲテ置キマセウト云フ

又サウ云フコトヲスルダラウト云フコトヲ

體支拂ノ場處ヲ記載スルコトニナルノデ、

來ナイト云フコトト記憶シテ居リマスガ、

尙ホ私ノ記憶シテ居ル所デハ此證券ニハ大

マシテ、支拂ノ場所ノ定メガアリマス時ニ

ハ、抵當權設定ノ時ニソレヲスルト云フ途

ヲ不動產登記法百十七條ヲ改正イタシマシ

テ、ソレヲ加ヘマシテ、サウシテ共百十七

條ニ書イテアルコトヲ證券ニ記載スルコト

ニナリマスノデ、證券ニ支拂場所ト云フモ

ノガ定メテアレバソレガ載ルコトデアリマ

シテ、其場所ニ於テサウ云フ元本ナリ利息

ナリノ支拂ガ行ハレルト云フコトニナリマ

ハモウ是デ止メテ置キマス、逐條ニ付テ是

カラ御質問ヲ申上ゲマス

○松本桑治君 只今ノ御質問ニ關聯シテ居

分ノモノハナルダラウト云フヤウニ私ハ記

憶シテ居タノデアリマスガ、司法當局ハド

ウデゴザイマセウカ

○政府委員(森田豊次郎君) 其通リデアリ

マシテ、支拂ノ場所ノ定メガアリマス時ニ

ケレバ絶對ニ支拂ヲ求メルト云フコトハ出

来ナイト云フコトト記憶シテ居リマスガ、

尙ホ私ノ記憶シテ居ル所デハ此證券ニハ大

マシテ、支拂ノ場所ノ定メガアリマス時ニ

ハ、抵當權設定ノ時ニソレヲスルト云フ途

ヲ不動產登記法百十七條ヲ改正イタシマシ

テ、ソレヲ加ヘマシテ、サウシテ共百十七

條ニ書イテアルコトヲ證券ニ記載スルコト

ニナリマスノデ、證券ニ支拂場所ト云フモ

ノガ定メテアレバソレガ載ルコトニナリマ

シテ、其場所ニ於テサウ云フ元本ナリ利息

ナリノ支拂ガ行ハレルト云フコトニナリマ

ス

○松本桑治君 尚ホ續ケテ……後デモ宜シ

ウゴザイマスガ、只今ノ御質問ニ關聯シテ

私ノ考ヘテ居ル所ト少シ違フヤウニ考ヘル

所ガアリマスルノデ、司法當局ニ御答ヲ願ッ

テ置キタイノデス、一つハ先程カラノ御話

デ、此抵當證券ニ依ル競賣ノ場合ニ於テ

ハ、假令第三取得者又ハ抵當證券ニ表示セ

ラレザル他ノ順位ノ抵當權、其抵當權ヲ持

テ居リマスル抵當權者ト云フヤウナ者ハ、

何等知ラナイ間ニ競賣ガ行ハレ得ルト云フ

ヤウニ、或ハ御考ヘデアッタカノ如ク聞エタノデアリマス、尤モ第三取得者ニ付テノ滌除ノコトダケハナクナリマスガ、併シ其以外ノコトハ第三取得者デアリマシテモ、或ハ次順位ノ抵當權者デアリマシテモ、或ハ不動產權ト云フモノガ別ニ出來マスレバサウ云フモノデアリマシテモ、皆競賣ニ付テハ無論知リ得ル機會ヲ與ヘラレテ居ルト思ヒマスノデ、是等ノ權利者ガ何等知ラヌ間ニ競賣ガ行ハレルト云フコトハ私ハナイダラウト思フテ居リマス、其點ニ付テ御答ヲ願ヒタイ、モウツハ先般來此登記ノ制度ガ、一部辨濟ノヤウナ時ニ常ニ登記ガアルカノ如キヤウニモ聞エル御質問ガアッタノデアリマスルガ、登記ノ場合ト雖モ一部辨濟ノ時ハ何等別ニ登記ガアル譯ズハナイ、登記ニ於テハ最初ノ債權額ニ付テノ登記ガアルバカリデアリマシテ、後ニナッテ一部辨濟ガアッタカラト云フテ、一々辨濟額ノ登記ヲシテ置クト云フコトハナイデハナイカト私ハ思ツテ居リマスガ、殊ニ根柢當ノヤウナ時ニハ登記面ニハ最大額ガ書イテアルダケデ、一向ドノ位ノ債權デアルカト云フヤウナコトハ登記面ニ於テハ分ラヌ、其點ニ於テハ抵當證券ノ場合ニ何等登記ガナイト云フコトノ結果、何カ違フコトガアルカ

○政府委員(森田豊次郎君) 此競賣ノ場合ノコトヲ御答ヘ申シマスガ、成程抵當證券者ガ滌除ノ規定ガ取レマシタ結果、競賣申立前ニハ第三取得者ニ通知スルコトハムツカシイガ、競賣ノ申立ガアリマスト次順位ノ抵當權者トシテ登記ノアル者、或物權取得者トシテ登記アル者ハ總テ利害關係人ニナリマスカラ、裁判所ハ利害關係人ニ其ニ付キマシテ難解ト云フ御感ジガアリマシ競賣ニ付テ申立ガアッタナラバソレヲ通知イタスコトニナリマス、ソレデ全クサウ云フ場合ニ知ラナイデ競賣サレテシマフト云フコトハ全然ナイコトデアリマス、其次ノ點デアリマスガ、實際一部辨濟ヲヤッテ居リマシテ登記シタ實例ハ極ク少イノデアリマス、勿論利息ノヤウナモノハ、支拂ガアッタト云フコトヲ登記シヤウト思テモ其途ガナイノデアリマス、強ヒテ一部辨濟ノアッタ時ニ登記ヲシヤウト思ヘバ、債權ノ變更登記ヲ出來ナイト云フコトハアリマセヌケレドモ、通常ハサウ云フ手數ヲ掛ケテ、サナモノハ、先ヅ無イト言テ宜カラウト思ヒマス

○政府委員(大久保慎次君) 法律自體ノ説立前ニハ第三取得者ニ通知スルコトハムツカシイガ、競賣ノ申立ガアリマスト次順位ノ抵當權者トシテ登記ノアル者、或物權取得者トシテ登記アル者ハ總テ利害關係人ニナリマスカラ、裁判所ハ利害關係人ニ其ニ付キマシテ難解ト云フ御感ジガアリマシ競賣ニ付テ申立ガアッタナラバソレヲ通知イタスコトニナリマス、ソレデ全クサウ云フ場合ニ知ラナイデ競賣サレテシマフト云フコトハ全然ナイコトデアリマス、其次ノ點デアリマスガ、實際一部辨濟ヲヤッテ居リマシテ登記シタ實例ハ極ク少イノデアリマス、勿論利息ノヤウナモノハ、支拂ガアッタト云フコトヲ登記シヤウト思テモ其途ガナイノデアリマス、強ヒテ一部辨濟ノアッタ時ニ登記ヲシヤウト思ヘバ、債權ノ變更登記ヲ出來ナイト云フコトハアリマセヌケレドモ、通常ハサウ云フ手數ヲ掛ケテ、サナモノハ、先ヅ無イト言テ宜カラウト思ヒマス

案デアルニモ拘ラズ、本年ノ六月一日カラ施行シヤウトシテ居ラッシャルヤウニ思ヒマスガ、コンナニ急イデナサル緊急ノ必要ガアルノデアリマセウカ、大藏當局ノ方ヘト云フコトモ段々少クナッテ參リマシタモノデスカラ、此利用ヲ如何ニシテ行クカト云フコトハ大體ニ於テ餘程ノ切望ガアル、斯ウ云フ工合ニ我ミハ見テ居リマス、ソレ等ノ關係カラ致シマシテ色ニ審議調査ヲ進メマシテ、昨年金融制度調査會ノ方デ大體ノ案ヲ決議ヲ願ヒマシテ、サウシテ法制上ノ問題ニモ瓦ルコトガ多イモノデスカラ、其方ニモ十分ノ研究ヲ願ヒマシテ、此法律ガ出來上ツタヤウナ次第デゴザイマス、此法律上ニ於テモ難解デハアルカモ知レマセヌガ、マア理窟ノ上カラ見マシテ相當ニ立ッテハ調査ノ一項目ニナッテ居リマシタ、ソレデ長イ間此問題ニ付テハ色ニト心配イタシタリマシタ、尙ホ民間側ニ於テモ此點テ居リマシテ、漸次此法規ニ慣レテ參リマスレバ、相當世間ノ利用モ是ガ爲ニ出來ルスレバ、相當世間ノ利用モ是ガ爲ニ出來ルデハナイカ、ソレデ法律ノ施行ガ六月迄ニ期間ガ短イデハナイデアラウカト云フ風ノ御趣旨ニ付キマシテハ、司法當局デモ篤ト御研究ヲ願ッテ居リマス、ソレ迄ニ色ニノス、色ニ御意見ノアリマシタヤウナモノモシテ居リマシタ、尙ホ民間側ニ於テモ此點出テ居リマス、昨今ノ金融界ノ狀態及ビ此不動產ノ利用ト云フ風ノ方面カラハ、大分ドウモ其要求ガ切デゴザイマス、一例ヲ舉ゲテ見マスト云フト、不動產ノ此貸出ハ年用ハ、ドウシテモ勸業銀行、農工銀行、拓殖銀行ト云フヤウナ、不動產專門ニ關係シ

<p>テ居ル方面ガ、十分ニ慣レテ參リマセヌケ レバ結局不動産ノ中央銀行タル資格ヲ…… サウ云フヤウナ關係ノ銀行ト致シマシテ、 世間ニ之ヲ活用シテ行ク上ニ於テモ如何カ ト思フノデアリマシテ、我ミモ其方面ニ付 テ實務者ヲ集メマシテ、斯ウ云フヤウナコ トニ付テノ研究ヲ遂ガタイ、サウ云フ風ナ 考ヘデ行キマシタナラバ、マア豫定通リ參 リマシタラ、六月カラ行ケヌカモ知レマセ ヌガ、或ハ準備其他ニ於テ多少ノ差ガアル ヤウニナルカモ知レマセヌガ、サウ云フヤ ウナ工合ニ致シマシテ、此不動産資金化ノ 世間ノ要求ニ對シマシテ、出來ルダケ早ク 應ジタイ、斯ウ云フ積リデアリマス、ドウ ド御諒承ヲ御願ヒマス</p>
<p>○委員長(子爵伊東祐弘君) 他ニ御質問ゴ ザイマセヌカ</p>
<p>○子爵前田利定君 此抵當證券ノ交付ニ付 テハ、重モニ第六條ノ中ニ主要ノ點ガ出テ 居ルヤウニ思フノデアリマスガ、是ハ原則 トシテ抵當權ノ存在ヲ確認シナイデモ、出 シ得ルヤウニナッテ居ルノデアリマスカ、サ ウデゴザイマスカ</p>
<p>○政府委員(森田豊次郎君) 此異議ガ全ク ナイ、或ハ異議ガ理由ガナイ、斯ウ云フコ トデアリマスレバ、其抵當權ガ登記ニ上ボッ テ居ル限リハ出スコトニナリマス、登記ガ アリマシテ、サウシテ其抵當證券ヲ交付ス ルノガ異議ガアルカナイカト云フコトヲ確 メマシテ、異議ガナイ、或ハ異議ガアリマ シテモ、異議ニ理由ガナイ、抵當證券ヲ發 行スルコトニ對シテ異議ヲ言フ理由ガナイ ト云フ裁判ガ確定イタシマスレバ出スノデ アリマシテ、抵當權ガ果シテ事實存在シテ 居ラヌト云フコトヲ確定スル手續ヲ致シテ カラ出スノデハナイノデアリマス ○子爵前田利定君 サウスルト、此登記方 面ニ付テ關係ノアリサウダト云フ向キヘ、 異議ガアルカドウカト云フコトヲ聞ク譯デ スネ</p> <p>○政府委員(森田豊次郎君) 左様デゴザイ マス</p> <p>○子爵前田利定君 ソレデ認メル譯デアリ マスカ</p> <p>○政府委員(森田豊次郎君) 總テ法律ヲ行 ヒマス際ニ、證券ノ發行ニ關係ノアル所ヲ 總テ捨ヒ出シマシテ、サウシテ茲ニ此六條 ニ擧ガテ居リマスヤウナ設定者、第三取得 者等、之ヲ全部ヤリマスレバ、外ニハ關係 ノ有ルモノハナカラウト思ヒマス</p> <p>○子爵前田利定君 無イデアラウト思ヒマ スケレドモ、事ヲ入念ニスル爲ニハ、或ハ ノ迷惑ヲ掛ケナイヤウニスルト云フ立前カ テ行クト云フト、殆ドソレハ無駄ナ…… 愚ナ話カモ知レマセヌケレドモ、サウ云フ 雲フヤウナ方法ヲ執ツタ方ガ、周密ニナルヤ ウニ思ヒマスケレドモ、サウ云フ場合ハ極 風ニシタナラバ、遺漏ガナイヤウニナラナ イカト思ヒマスガ、其邊ドウデセウカ ク稀レカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フ テ居ル限リハ出スコトニナリマス、登記ガ アリマシテ、サウシテ其抵當證券ヲ交付ス ルノガ異議ガアルカナイカト云フコトヲ確 メマシテ、異議ガナイ、或ハ異議ガアリマ シテモ、異議ニ理由ガナイ、抵當證券ヲ發 行スルコトニ對シテ異議ヲ言フ理由ガナイ ト云フ裁判ガ確定イタシマスレバ出スノデ アリマシテ、抵當權ガ果シテ事實存在シテ 居ラヌト云フコトヲ確定スル手續ヲ致シテ カラ出スノデハナイノデアリマス ○政府委員(森田豊次郎君) 或ハ是デ、極 ク稀レナ場合ニハ漏レテ居ル場合ガアルカ モ知レマセヌガ、之ヲ發行スル度毎ニ新聞廣 告シマストカ、或ハ官報ニ廣告スルト云フコ トニ致シマスト、總テノモノヲ發行スルニ 澤山ナ手數ト費用ガカカリマスノデ、是ガ 茲ニ漏レテ居ルモノガ若シアリマシテ、其 抵當權ノ交付ニ異議ヲ言フ 権利ヲ持ツテ居 ル者ガ、此中ニ入ツテ居リマセヌデ、其者ノ 意見ヲ聞カズシテ出サレタ、斯ウ云フ時ニ ハ其者ハ矢張リ權利ヲ失ハナイデ、後ニ其 異議ガ言ヘルコトニナッテ居ルノデアリマ ス、併シサウ云フ場合ハ極ク稀レナ場合デ アリマシテ、實際ハ殆ド考ヘ出セバ或ハア リマスカモ知レマセヌガ、實際ノ場合ハ是 ダケノモノニ通知ヲシテヤレバ漏レハナイ ト考ヘテ居リマス</p> <p>○子爵前田利定君 是ハ私ノ杞憂カモ知レ 考ヘマス</p> <p>○子爵前田利定君 御話ノ通り日本ノ登記 制度カラ見テ、根本的ニ獨逸見タイナ工合</p>

ニナフテ居ラナイ、デアリマスカラソレダケ
何カソレヲ補綴スル方法トカ、善意ノ第三

取得者ニ損害ヲ、稀レナ場合カモ知レマセ
ヌガ、自然ニ保護シテ行クト云フ要ハナイ
ダラウカト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(森田豊次郎君) 若シ完全ヲ期

スレバ、サウスルノガ適當カモ知レマセヌ
ガ、ソレニハ先キニ申シマシタヤウニ非常

ニ稀レナ場合デ、サウシテ新聞ニ廣告ヲ

出シタリ、又ハ官報ニ出スト云フコトモ餘
リ皆ニ知レ渡ルコトデモナイノデアリマシ
テ、ソレガ爲ニ是ハ大變ナ手數ト、大變ナ
費用ガカカルノデ、ソレハサウシナカッタ譯
デアリマス

○水上長次郎君 チヨット私御尋ネシタイノ

デアリマスガ、アナタノ方カラ御示シニナッ

タ表デスネ、此表ノ中ニ競賣法ニ依ル競賣

事件調ト云フモノガアリマスルガ、是ハ昭

和二年カラ昭和四年度迄三箇年ノ統計デア

リマス、此三箇年間ニ競賣法ニ依テ競賣ヲ

シタ事件ノ調べ、無論是ハ抵當地所ノ競賣
ノコトデアリマセウネ、ソレデ私ノ御尋シ

タイノハ、是ハ抵當ノ事件ニ限テ居ルノ
デセウ、サウスレバ抵當ガドレ程アッテ、其

結果競賣ニナックト云フコトガ知リタイノ
デス、ソレガ若シ今御分リニナッテ居レバ承

知イタシテ、サウシテ矢張リ之ニ關聯シテ
居リマスガネ、此抵當權移轉登記事件調べ

○政府委員(森田豊次郎君) 其通リデアリ
マス

ト云フノガアリマス、是ハ抵當ニナッテ居ル
地所ノ移轉即チ第三取得者ノ手ニ移ッタヤ
ウナ場合ヲ云フテ居ルノデアルカ、或ハ抵
當權設定ノ事件調べデアルカ、チヨット其處
ガ分ラヌノデアリマス、是ハ兩様ヲ一つ御
調べノ上……

○政府委員(森田豊次郎君) 只今分ッテ居
ルコトダケヲ御答へ致シマス、現在何件抵
當權ガ存在イタシテ居リマシテ、其中ノ何
件ガ競賣ニナルカト云フコトハ司法省ノ手
デハ調べニクイノデスガ、斯ウ云フコトハ

分ルノデアリマス、試ニ一年中ニ抵當權設

定ノ數ガ幾ラアルカ、其一年ノ中ニ競賣件

數ハ幾ラアルカト云フコトノ數ヲ調べテ見

マシタ所ガ、百件ノ中約二件、二分ト云フ

トカ、本質ガ無クナルトカ、多少手形ノ流

シテ有シテ居ル權利者ニ色ミナ不利ヲ來ス

ノデアリマスカラ、之ヲ一々登記ヲシナケ
レバ、讓渡ノ效力ハ生ジナイ、斯ウ云フコ

トヲシタナラバ宜カラウト實ハチヨット考

ヘテ居ルノデアリマス、サウスルコトノ出

來ナイ理由ガアルカドウカト云フコトヲ一
ツ、若シソレヲ登記スルト云フコトニナル

ト、手形ノ效用ト云フモノハ全ク無クナル

通知ヲスルコトニシテモ別ニ差支ナイト
思ヒマスガ、通知ヲシテハイケナイト云フ

理由ヲチヨット承ハリタイ、極ク簡単デス
ガ……

○水上長次郎君 チヨット簡單ナコトデア
リマスガ、本法デハ手形證券ノ讓渡ト云フ
モノハ必ズ裏書ヲ以テ完了スルノデアリマ
ス、其他ニ何等ノ手續ヲ要シナイ、裏書シ
テ渡セバ讓渡ガ完了スルト云フコトニナッ

テ居リマスガ、ソレデハ先程申上ゲマシタ
通り、其手形面ニ現ハレテ居ル不動產ニ對
シテ有シテ居ル權利者ニ色ミナ不利ヲ來ス
ノデアリマスカラ、之ヲ一々登記ヲシナケ
レバ、讓渡ノ效力ハ生ジナイ、斯ウ云フコ
トヲシタナラバ宜カラウト實ハチヨット考
ヘテ居ルノデアリマス、サウスルコトノ出
來ナイ理由ガアルカドウカト云フコトヲ一
ツ、若シソレヲ登記スルト云フコトニナル
ト、手形ノ效用ト云フモノハ全ク無クナル
通知ヲスルコトニシテモ別ニ差支ナイト
思ヒマスガ、通知ヲシテハイケナイト云フ
理由ヲチヨット承ハリタイ、極ク簡単デス
ガ……

○政府委員(森田豊次郎君) 極ク簡單ニ御
答へ致シマス、第一點ノ登記ノ件デアリマ
ス、是ハ登記ノ手數ヲ省略シテ簡單ニ裏書
デ讓渡ガ出來ル爲ニ斯ウシタノデアリマ
ス、證券ヲ出シタ上ニ登記ヲシナケレバナ
ラスト云フコトニ致シマスト、非常ニ屋上
シナカッタ場合ニハ、三箇月内ニ競賣ノ申出
ラシテ、不動產ヲ否應ナシニ取テシマフ、
屋ヲ架スルヤウナ厄介ガアルノデアリマ
ス、ソレカラ競賣ノ申立前ニ通知ヲスルヤ

○水上長次郎君 サウスルト抵當權移轉登
記事件ノ調べノ中カラ競賣法ニ依ル競賣數

斯ウ云フコトニナル、所ガ其手續ヲスル場

ウニシタラウカト云フコトデアリマスガ、是ハ證券ガ發行サレテナクテモ、定義上ノ問題ハ別ト致シマシテ、普通ノ抵當權ヲ實行スルモノニ付キマシテモ、二番抵當權者三番抵當權者、之ニ通知ヲシテカラデナケレバ、競賣ノ申立ヲスルコトガ出來ナイト云フコトデナカラウカト私ハ考ヘテ居リマスガ、必ズ法律上サウ云フ通知ヲシナケレバナラナイ義務ヲ認メルト云フコトハ如何カト思ウテ、サウ云フコトハ規定シナイ方ガ適當ト考ヘテ居リマス、無論抵當權者ト雖モ、是ハ競賣ニナリマストナカノ相當時間モカカルコトデアリ、面倒モ起ルコトデアリマスシ、證券所持人トシマシテハサウ云フ人ニ事實上協議ヲ致シマシテ、サウシテ誰モ引受手ガ無イト云フコトデ競賣場ニ持ツテ來ルノデアリマスカラ、實際上サウ云フ協議ハ行ハレマセヌガ、法律上抵當證券ノ所持人ニサウ云フ義務ヲ課スルコトハ如何カト考ヘテ居リマス

○水上長次郎君 只今抵當地所ヲ競賣ニ付スル時ニ、所有者ヤ或ハ第一抵當權者ト云ノナイコトハ、單リ本法證券、手形證券ノ場合ニ限ラヌ、普通ノ場合デモナイヤウナ御答ヘデアリマシタガ、私ノ記憶スル所デハ、……チヨット條文ヲ御目ニ掛ケルコトハ出來マセヌガ、是ハ通知ヲシナケレバナラヌコトニナッテ居ルノデス、是ハ不動產登記法ノ百何十條デアリマシタカ……、チヨット要ガナイト云フコトナラバ、私ノ御尋ネハ止メマスガ、私ハ確カニアッタ思ヒマスガネ、兎ニ角サウ云フ御答ヘナラバ留保シテ置キマス、サウスルト只今ノ御答ヘデハ、通知ヲスルトカ或ハ又譲渡シノ時ニ、一々登記ヲスルト云フコトハ面倒臭イ、ソンナコトヲシテ居ルト手形ノ效用ガ無クナル、證券ヲバ手形同様ニ輕々流通セシメテ、現金ヲ流通セシメルヤウニ、圓滑ニ流通セシムルニハ、サウ云フ面倒臭イコトデアッテハイケナイ、斯ウ云フコトニ了解シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(森田豊次郎君) 通知ノ問題ハ、是ハ抵當權者ハ、普通ノ場合デモ通知スル義務ハナインデアリマスカラ、特ニ抵當證券發行ノ場合ニ通知ノ義務ヲ負ハスノハイケナイト考ヘルノデアリマス、ソレカラ其登記ノ問題デアリマスガ、是ハ此只今デモ移轉登記、抵當權ヲ持ツテ居リマス者ガソレヲ他人ニ譲渡シマス時ニハ登記ヲシテ云フコトモ、此抵當權存在セズト云フコトモ、此抵當證券法ヲ持ヘル重大ナル理由ニナッテ居ルノデスカラ、之ヲヤッテラ分リマスガ、若シザウ云フ通知ヲスル必要ガナイト云フコトナラバ、私ノ御尋ネハ行キマシテ、證券ヲ出スコトニシマシテ、又其裏書ノ登記ヲスルト云フコトハ、是ハ全ク二重ニナルト云フノデ、登記ハ要ラナイト申上ゲタノデアリマス

○政府委員(森田豊次郎君) 登記ヲ致シマスレバデスネ、一々裏書ヲ受ケタモノハ登記所へ出テ行カナケレバナラヌ、ソレデハ證券ヲ持ヘ上ゲナクテモ譲渡ハ許サレテ居ルノデアリマス、サウシテ登記所へ行ツテ移轉登記ヲスレバ、ソレデ出來ルノデアリマスカラ、デ證券ヲ持ヘテ其手數ヲ省キマシテ、サウシテ裏書スレバソレデ完全ニ權利ガ移轉スル、斯ウ云フコトニアラセタイガ爲ニ登記ヲ止メニスルノデアリマスカラ……

○子爵前田利定君 或ハ逐條ノ時ニ伺タル、斯ウ云フコトニアラセタイガ爲ニ登記ル、却ツテ不安ヲ感ジサセハシナイカ、何トカ外ニ書キ方ハナカタノデセウカ

○政府委員(森田豊次郎君) 抵當權ガ存在セズト云フコトハ、事實上是ハ斯ウ云フ場合ガアルノデアリマシテ、已ムヲ得ナイノデ書イタノデアリマス、ドウモ滅失ト云コトモ言ヘマセズ、後ニ疑義ガ生ジテモ困リマスカラ、斯ウ云フ事實ガ全クアルト

モ……、殆ド實際問題トシテハ起ラナイカ

モ知レマセヌガ、全ク無イトハ申サレナイ
ノデ、マア書イタ譯デアリマス

○子爵前田利定君 御工夫ガ付カナカッタ

ナラバ仕方ガアリマセヌケレドモ、御工夫
ガ付クナラバ何カ……、サウナルト修正ト

云フヤウナコトデ、厄介ナコトニナルカラ
申述ベマセヌケレドモ、ドウモ明カニサウ
云フ事實モ無論アルノデアリマセウケレド
モ、アルト云フコトヲ此處ニ書クコトハ面

白クナイヤウニ思フノデスガ、併シ今更他
ノ文字ヲ以テスルト云フコトハ修正ニナリ

マスカラ、面倒デスカラ申上ゲマセヌガ、
將來何カ斯ウ云フ法案、法律ヲ御改訂ニナ

ルヤウナ時分ニハ御工夫ヲ願ヒタイモノダ
ト私ハ思ヒマス

○委員長(子爵伊東祐弘君) モウ御質疑ア

リマセヌカ

〔「アリマセヌ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵伊東祐弘君) ソレデヤ今日

ハ此程度ニ止メマシテ延會イタシマシテ、
明日民事局長ガ御出ラレニナリマスレバ、
明日逐條ニ入ルコトニシテ、始メレバ午前
十時カラ……、兎ニ角競報デ御知ラセ致シ
マス

午後三時十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵伊東 祐弘君

副委員長 松本 烈治君

委員 子爵前田 利定君

水上長次郎君

有吉 忠一君

男爵渡邊 修二君

菅原 通敬君

名取 忠愛君

政府委員

大藏省主税局長 青木 得三君

大藏省銀行局長 大久保慎次君

司法省民事局長 長島 耕君

司法書記官 森田豊次郎君

昭和六年三月二十四日印刷

昭和六年三月二十五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局